



**マジックコネクト・ネオ
管理機能の利用手順
(アカウント管理者用)**

第 1.10.0 版

NTTテクノクロス株式会社

目 次

1. 管理機能へログイン	3
2. アクセス履歴の表示	8
3. ユーザ管理	30
4. グループ化接続構成	114
5. 管理機能利用設定.....	150
6. パスワードの変更（アカウント管理者）	160

1. 管理機能へログイン

管理機能へログインする手順を説明します。

- (1) Web ブラウザで管理機能 (<https://neo-gi.magicconnect.net/>) を開きます。

マジックコネクトホームページ (<https://www.magicconnect.net/>) から管理機能を開くことができます。

マジックコネクト・ネオ

より使いやすくなった新しいモデルで、以下の場合のみご利用可能です。

- ・マジックコネクト・ネオ^①として契約
- ・従来モデル^②の契約からマジックコネクト・ネオ^①の契約へ移行

以下のインターフェース^{※1}を留意しております。

ビューアアプリ ライフラインプログラム

「**ログインはこちら**」ボタンから管理機能画面に移動します。「**管理者用**」または「**一般ユーザ用**」のアカウント情報を入力し、ログインしてください。

\\マジックコネクト・ネオ管理機能へ

ログインはこちら >

マジックコネクト(従来モデル)

以前より提供しているモデルで、以下の場合のみご利用可能です。

- ・マジックコネクト(従来モデル)^②として契約

以下のインターフェース^{※1}を留意しております。

ビューアアプリ ライフラインプログラム

ご利用中のマジックコネクトサーバのホスト名を入力し、「**ログインはこちら**」ボタンから管理機能画面に移動します。「**管理者用**」または「**一般ユーザ用**」のアカウント情報を入力し、ログインしてください。

サーバ .magicconnect.net

\\マジックコネクト(従来モデル)管理機能へ

ログインはこちら >

メンテナンス情報などのお知らせがある場合、下記のように表示されます。

📢 お知らせ
【重要なサポート情報,製品情報】古いOSバージョンのサポート終了について (iOS, iPadOS)
▼もっと見る
お知らせ一覧

「▼もっと見る」が存在する場合、選択するとより多くの情報が表示されます。

📢 お知らせ
【重要なサポート情報,製品情報】古いOSバージョンのサポート終了について (iOS, iPadOS)
【重要なサポート情報,製品情報】USBキー版ビューアアプリの最新バージョンが起動に失敗する問題 (お問い合わせコード 623) について
【重要なサポート情報,メンテナンス情報】マジックコネクト・ネオ | 設備メンテナンスのお知らせ(2024/12/10実施)
▲閉じる
お知らせ一覧

各お知らせや「お知らせ一覧」を選択すると、詳細を確認できます。

2024.11.13 **メンテナンス情報**

マジックコネクト・ネオ | 設備メンテナンスのお知らせ(2024/12/10実施)

「マジックコネクト・ネオ[📱]」の設備メンテナンスを、下記の日程で実施します。
※「マジックコネクト (従来モデル)[📺]」は本メンテナンスの対象ではありません。

■日時
2024年12月10日(火) 22:00 ~ 23:59 (日本時間 24時間表記)

■対象となるお客様
「マジックコネクト・ネオ」契約のお客様

■影響
上記時間帯内の約60分間、マジックコネクトサーバが停止されます。

マジックコネクトサーバの停止中はマジックコネクトを利用できません。
マジックコネクトサーバの再開後、対象機器[📺] (接続先機器) は自動的に再接続されます。

- (2) 「アカウント管理者」のユーザ名とパスワードを入力し、「ログイン」を押します。



magicConnect^{Neo} 管理機能
マジックコネクト・ネオ

ユーザ名とパスワードを入力してください。
※アカウント管理者でログインする場合は、アカウント管理者のユーザ名を入力してください。

ユーザ名

パスワード 

ログイン

アカウント一覧表には「管理者用アカウント」と「一般ユーザアカウント」とが記載されています。「管理者用アカウント」が「アカウント管理者」に該当します。

契約ID :	000000000		
 ユーザアカウント一覧表 NTTテクノクロス株式会社			
■管理者用アカウント ※管理者向け機能を利用する際に用いる情報です。なお、このアカウントはマジックコネクトリモートアクセスには利用できません。			
管理者用アカウント/初期パスワード(*1)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; font-size: small;">Hm123456789012345</td> <td style="width: 50%; text-align: center; font-size: small;">12345678901234567</td> </tr> </table>	Hm123456789012345	12345678901234567
Hm123456789012345	12345678901234567		

仮パスワードから変更していない場合、パスワードの変更を求められます。
自分だけが知る新しいパスワードへ変更してください。

パスワード変更

このアカウントの利用を開始するためにはパスワードを変更する必要があります。

ユーザ名

パスワードは、10文字以上255文字以内の長さで、半角の英大小文字と数字・記号を混在させてください。

現在のパスワード

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード (確認)

新しいパスワード (確認)

変更

ログインに成功すると、管理機能のメニューが表示されます。

マジックコネクト・ネオ

管理機能
👤 アカウント管理者
🔒 ログアウト

トップ
アクセス履歴
ユーザ管理
グループ化接続構成
管理機能利用設定
パスワード変更

📢 お知らせ

【重要なサポート情報, 製品情報】古いOSバージョンのサポート終了について (iOS, iPadOS)

▼もっと見る

[お知らせ一覧](#)

🕒 アクセス履歴

過去1年のアクセス履歴を表示することができます。

👤 ユーザ管理

アカウントごとにユーザー情報を管理することができます。

🔗 グループ化接続構成

現在の接続構成を表示・編集することができます。

🛡️ 管理機能利用設定

管理機能利用についての各種設定を管理することができます。

🔑 パスワード変更

登録されているパスワードを変更することができます。

利用する管理機能を選択してください。

ログインしたアカウント種別が表示されます。
アカウント管理者でログインしたため、**アカウント管理者**と表示されます。

ログアウト
管理機能からログアウトします。

アクセス履歴

管理下の一般ユーザのアクセス履歴を閲覧できます。

グループ化接続構成

管理下の一般ユーザの接続構成を閲覧・編集できます。

パスワード変更

管理者用アカウントのパスワードを変更できます。

ユーザ管理

管理下の一般ユーザのパスワードを変更、アカウントの接続条件を変更、アカウントロックを手動解除できます。

管理機能利用設定

本アカウント管理用画面にログイン可能な IP アドレスを制限、多要素認証の設定、サブアカウント管理者を管理、アカウント管理の操作記録を確認できます。

注意) 上記画面は「アカウント管理者」としてログインした場合の画面です。

「一般ユーザ」でログインした場合には、下図のような機能制限された画面になります。

2. アクセス履歴の表示

本機能を利用することでユーザがマジックコネクトを利用した際のアクセス履歴を確認できます。

2.1. アクセス履歴を表示する	11
2.2. 認証エラーの履歴を表示する	15
2.3. ビューア・クライアント間の接続履歴を表示する	16
2.4. 利用時間をユーザごとに表示する	17
2.5. 利用時間を日ごとに表示する	21
2.6. アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)	23

(1) アクセス履歴画面を表示するには、トップ画面からアクセス履歴をクリックします。



(2) 「表示年月」をクリックします。



(3) 表示する月をクリックします。

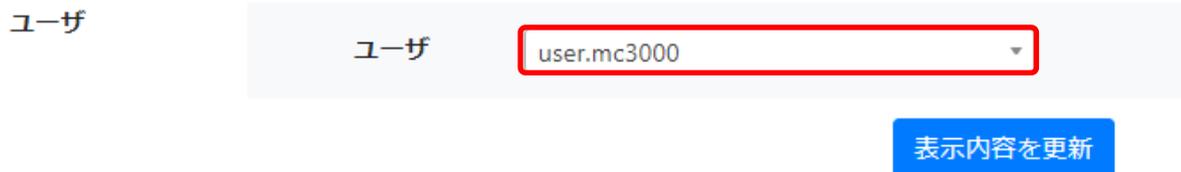


2.1. アクセス履歴を表示する

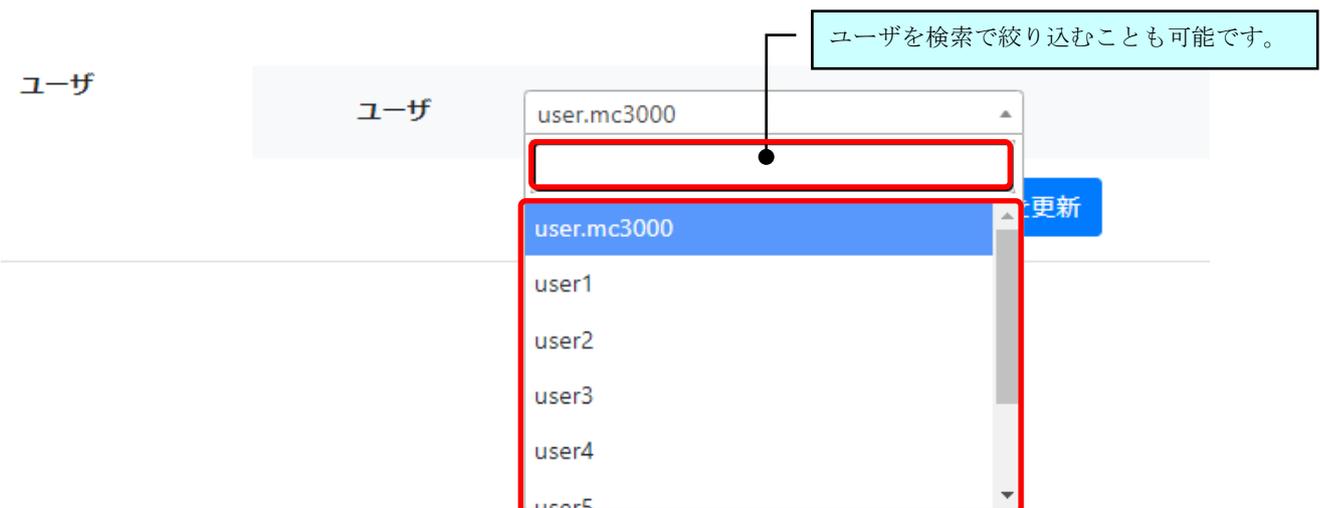
アクセス履歴を表示するための基本的な手順を説明します。

■ ユーザを選択する

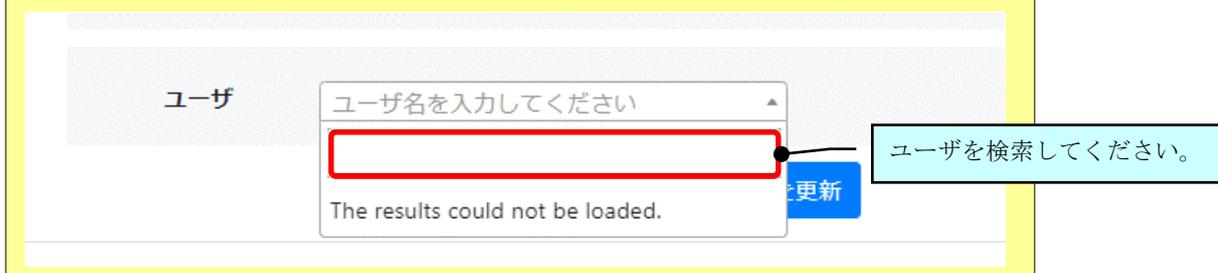
(1) 「ユーザ」をクリックします。



(2) アクセス履歴を表示したいユーザを選択します。テキスト入力により検索で絞り込むことも可能です。



注意) 管理下に 5000 アカウント以上存在する場合は、アカウントの一覧が表示されません。確認したいユーザを検索することでユーザを指定できます。



■ ビューアの履歴のみ表示する

ビューア（手元端末で動作するプログラム）がマジックコネクトサーバへ接続した履歴のみを表示します。

この表示状態では、各行の背景色はすべて薄橙色です。

種別 ビューアのみ クライアントのみ ビューアとクライアント

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示 接続元ビューアを表示

ユーザ user1

表示内容を更新

ビューアの履歴のみ表示されます。

ユーザ名 user1 1 / 1 ページ目を表示中 表示数 50

接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果
05/11 15:17:35	05/11 15:21:44	4分 8秒	114.76.21.47	02:00:00:00:00:00	成功
05/12 14:26:39	05/12 14:26:57	18秒	114.76.21.47	02:00:00:00:00:00	成功
05/12 14:27:12	05/12 14:27:50	37秒	114.76.21.47	02:00:00:00:00:00	成功
05/12 14:27:57	05/12 14:29:09 [接続中]	1分 11秒	114.76.21.47	02:00:00:00:00:00	成功

<< < 1 > >>

「接続元アドレス」は、ビューアが動作する端末のグローバル IP アドレスです。

※ ビューアアプリのバージョンが 8.2r1 未満の場合、MAC アドレスは空欄になります。8.2r1 以降であっても、iOS と Android の場合、OS の制約から MAC アドレスは固定値「02-00-00-00-00-00」になります。

■ クライアントの履歴のみ表示する

クライアント（接続先機器（対象機器、オフィス PC）で動作するプログラム）がマジックコネクトサーバへ接続した履歴のみを表示します。

この表示状態では、各行の背景色はすべて白色です。

種別 ビューアのみ **クライアントのみ** ビューアとクライアント

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示 接続元ビューアを表示

ユーザ user1

表示内容を更新

クライアントの履歴のみ表示されま

ユーザ名 user1 1 / 1 ページ目を表示中 表示数 50

接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果
05/11 17:35:07	05/11 18:13:12	38 分 5 秒	114.136.47.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功
05/11 18:16:01	05/12 14:23:13	20 時間 07 分 11 秒	114.136.47.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功
05/12 14:23:24	05/12 14:23:48	24 秒	114.136.47.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功
05/12 14:24:00	05/12 14:42:44	18 分 44 秒	114.136.47.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功
05/12 14:42:55	05/12 14:43:11	16 秒	114.136.47.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功
05/12 14:43:16	05/12 14:43:19 [接続中]	2 秒	114.136.47.27	08:9F:71:0E:5F:0C	成功

<< < 1 > >>

「接続元アドレス」は、クライアントが動作する端末のグローバル IP アドレスです。

※ クライアントプログラムのバージョンが 8.2r1 未満の場合、MAC アドレスは空欄になります。

■ ビューアとクライアントの両方の履歴を表示する

ビューアとクライアントのそれぞれがマジックコネクトサーバへ接続した履歴を混在させて表示します。

この表示状態では、各行の先頭に「種別」の列が追加されます。

「種別」が「viewer」の行は、ビューア（手元端末）の履歴です。この行の背景色は薄橙色です。

「種別」が「client」の行は、クライアント（接続先機器）の履歴です。この行の背景色は白色です。

種別 ビューアのみ クライアントのみ ビューアとクライアント

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示 接続元ビューアを表示

ユーザ user1

表示内容を更新

先頭列に「種別」が追加されます。

種別	接続開始時刻	接続終了時刻	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果
viewer	05/11 15:17:35	05/11 15:21:44	4分8秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
client	05/11 17:35:07	05/11 18:13:12	38分5秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
client	05/11 18:16:01	05/12 14:23:13	20時間07分11秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
client	05/12 14:23:24	05/12 14:23:48	24秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
viewer	05/12 14:26:39	05/12 14:26:57	18秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
viewer	05/12 14:27:12	05/12 14:27:50	37秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
viewer	05/12 14:27:57	05/12 14:42:16	14分18秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
client	05/12 14:24:00	05/12 14:42:44	18分44秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
client	05/12 14:42:55	05/12 14:43:11	16秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
viewer	05/12 14:56:17	05/12 14:56:22	4秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
viewer	05/12 14:56:30	05/12 14:56:51	21秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功
client	05/12 14:43:16	05/12 14:56:56	13分39秒	114.138.127.11	08:00:00:00:00:00	成功

2.2. 認証エラーの履歴を表示する

マジックコネクトサーバの認証に成功した履歴だけでなく、認証エラーの履歴も含めて表示することができます。これにより、「認証結果」の列で認証結果が確認できます。

- 「認証結果」が「成功」の行
認証に成功した履歴です。
- 「認証結果」が「失敗：」で始まる行
認証エラーの履歴です。
「：」に続くメッセージが「認証エラーの理由」を表します。

「認証エラーの理由」に対処する方法は、マジックコネクトホームページ
(<https://www.magicconnect.net/>) より、[お客様サポート]-[マニュアル]-[ご利用中のトラブル関連]にある「[接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法](#)」をご覧ください

種別 ビューアのみ クライアントのみ ビューアとクライアント

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示 接続元ビューアを表示

ユーザ

表示内容を更新

種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果
viewer	05/11 15:17:29	05/11 15:17:29	-	114.136.21.27	70:97:10:17:00	失敗: 手元端末の端末認証情報が未登録のため、接続できません。 詳細
viewer	05/11 15:17:35	05/11 15:21:44	4 分 8 秒	114.136.21.27	70:97:10:17:00	成功
client	05/11 17:35:07	05/11 18:13:12	38 分 5 秒	114.136.21.27	70:97:10:17:00	成功
client	05/11 18:16:01	05/12 14:23:13	20 時間 07 分 11 秒	114.136.21.27	70:97:10:17:00	成功
client	05/12 14:23:24	05/12 14:23:48	24 秒	114.136.21.27	70:97:10:17:00	成功
viewer	05/12 14:25:20	05/12 14:25:20	-	114.136.21.27	70:97:10:17:00	失敗: MACアドレス制限により接続が拒否されました。 詳細
viewer	05/12 14:25:35	05/12 14:25:35	-	114.136.21.27	70:97:10:17:00	失敗: MACアドレス制限により接続が拒否されました。 詳細
viewer	05/12 15:18:10	05/12 15:18:10	-	114.136.21.27	70:97:10:17:00	失敗: MCビューアから送信されたパスワードと、サーバに登録されているパスワードが異なります。

「認証結果」を確認できます。

2.3. ビューア・クライアント間の接続履歴を表示する

ビューア（手元端末）からクライアント（接続先機器）への接続で利用された、リモートデスクトップや WOL 等のリモート操作アプリの履歴を表示できます。

種別 ビューアのみ クライアントのみ ビューアとクライアント

認証結果 認証に成功した接続のみ 認証に失敗した接続のみ 全ての接続

拡張表示 接続先クライアントを表示 接続元ビューアを表示

ユーザ

表示内容を更新

種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス	認証結果	接続元ビューア or 接続先クライアント ⓘ					
client	03/01 16:50:12	03/01 16:50:36	23 秒	124.146.214.200	08:15:53:39:16:13A	成功	user1	3389	03/01 16:50:19	03/01 16:50:23	124.146.214.200	08:15:53:39:16:13A
viewer	03/01 16:48:54	03/01 16:59:06	10 分 12 秒	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC	成功	user2	3389	03/01 16:49:36	03/01 16:49:50	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC
viewer	03/01 16:59:11	03/01 16:59:13	1 秒	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC	成功	user1	3389	03/01 16:50:19	03/01 16:50:23	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC
viewer	03/01 16:59:18	03/01 16:59:19	0 秒	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC	成功	user1	3389	03/01 16:50:19	03/01 16:50:23	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC
viewer	03/01 16:59:28	03/02 15:49:36	22 時間 50 分 07 秒	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC	成功	user.mc3000	5009	03/01 16:51:02	03/01 16:51:04	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC

拡張表示される部分

接続元ビューア or 接続先クライアント ⓘ

user1	3389	03/01 16:50:19	03/01 16:50:23	124.146.214.200	08:15:53:39:16:13A
user2	3389	03/01 16:49:36	03/01 16:49:50	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC
user1	3389	03/01 16:50:19	03/01 16:50:23	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC
user.mc3000	5009	03/01 16:51:02	03/01 16:51:04	124.146.214.200	08:0F:38:0F:55:DC

ここをクリックすることで画面上で表の詳細が確認できます。

左から順番に以下の情報を表します。

- 接続元ビューア/接続先クライアントのユーザ名
(異なるユーザ間の接続では、強調表示されます。)
- リモート操作アプリが使用したポート番号
(通常、リモートデスクトップの場合は「3389」、WOLの場合は「5009」です。)
- ビューア・クライアント間の接続開始日時
- ビューア・クライアント間の接続終了日時
- 接続元ビューア/接続先クライアントのグローバル IP アドレス
- 接続元ビューア/接続先クライアントの MAC アドレス

2.4. 利用時間をユーザごとに表示する

選択したユーザのリモートデスクトップ利用時間を、1ヶ月分表示します。

- (1) アクセス履歴画面で「利用時間をユーザごとに表示」タブをクリックします。

全てを表示 **利用時間をユーザごとに表示** 利用時間を日ごとに表示 アクセス履歴ダウンロード

ユーザのMagicConnectアクセス履歴を月単位で表示します。

表示年月 2022-03-02 16:15:39 +0900 時点

- (2) 「利用時間をユーザごとに表示」画面に切り替わります。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更																																																							
<p>全てを表示 利用時間をユーザごとに表示 利用時間を日ごとに表示 アクセス履歴ダウンロード</p> <p>ユーザのリモートデスクトップ利用時間を1ヵ月単位で表示します。</p> <p>表示年月 <input type="text" value="2022-03"/> 2022-05-30 14:24:40 +0900 時点</p> <p>ユーザ <input type="text" value="ユーザ 999999a40001"/></p> <p>user.mc3000 表示内容を更新</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>利用時間</th> <th>開始</th> <th>終了</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>03/01(火)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/02(水)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/03(木)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/04(金)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/05(土)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/06(日)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/07(月)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/08(火)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/09(水)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>03/10(木)</td> <td>0 3 6 9 12 15 18 21 24</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						日付	利用時間	開始	終了	計	03/01(火)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/02(水)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/03(木)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/04(金)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/05(土)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/06(日)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/07(月)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/08(火)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/09(水)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-	03/10(木)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-
日付	利用時間	開始	終了	計																																																								
03/01(火)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/02(水)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/03(木)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/04(金)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/05(土)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/06(日)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/07(月)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/08(火)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/09(水)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								
03/10(木)	0 3 6 9 12 15 18 21 24	-	-	-																																																								

(3) 「表示年月」をクリックします。

The screenshot shows the top navigation bar with 'トップ', 'アクセス履歴', 'ユーザ管理', and 'グループ化接続構成'. Below it, there are tabs for '全てを表示', '利用時間をユーザごとに表示', '利用時間を日ごとに表示', and 'アクセス履歴ダウンロード'. The main content area has a heading 'ユーザのリモートデスクトップ利用時間を1か月単位で表示します。' and a form with '表示年月' set to '2022-03' (highlighted with a red box) and a calendar icon. To the right, it shows '2022-03-02 16:29:48 +0900 時点'. Below the form is a 'ユーザ' dropdown menu with 'user.mc3000' selected. A blue button '表示内容を更新' is at the bottom right.

(4) 利用時間を確認したい年月をカレンダーから選択します。

The screenshot shows the same interface as above, but with a calendar overlay for the year 2022. The calendar has a header with '2022' and a left arrow '«' (highlighted with a red box). The months are listed from 1月 to 12月, with '2月' (February) highlighted with a red box. A callout box with a light blue background and black border contains the text: 'カレンダー上部の矢印をクリックすることで、前後の年を選択することができます。' (By clicking the arrow at the top of the calendar, you can select the previous or next year.) The background interface is partially obscured by the calendar.

(5) 利用時間を確認したいユーザをプルダウンメニューから選択します。

[全てを表示](#)
[利用時間をユーザごとに表示](#)
[利用時間を日ごとに表示](#)
[アクセス履歴ダウンロード](#)

ユーザのリモートデスクトップ利用時間を1か月単位で表示します。

表示年月: 2022-03-02 16:17:31 +0900 時点

ユーザ

ユーザ: 更新

ユーザを検索で絞り込むこともできます。

日付	0	3	ユーザ	21	24	開始
03/01(火)	[Progress Bar]		user1	[Progress Bar]		-
03/02(水)	[Progress Bar]		user2	[Progress Bar]		-
03/03(木)	[Progress Bar]		user3	[Progress Bar]		-
	[Progress Bar]		user4	[Progress Bar]		-
	[Progress Bar]		user5	[Progress Bar]		-

注意) 管理下に 5000 アカウント以上存在する場合は、アカウントの一覧が表示されません。確認したいユーザを検索することでユーザを指定できます。

ユーザ

更新

ユーザを検索してください。

The results could not be loaded.

利用時間が日を跨いだ場合、開始時刻または終了時刻に「*」が表示されます。

「*」にマウスカーソルを重ねると説明が表示されます。

下図の場合、2/22(火)の利用時間が日を跨でいる為、終了時刻が「24:00*」と表示されます。

2/23(水)は前日の2/22(火)から日を跨いでいる為、開始時刻が「00:00*」と表示されます。



2.5. 利用時間を日ごとに表示する

選択した日付の全てのユーザの利用時間を表示します。

- (1) アクセス履歴画面で「利用時間をユーザごとに表示」タブをクリックします。

The screenshot shows a navigation bar with four tabs: '全てを表示', '利用時間をユーザごとに表示', '利用時間を日ごとに表示' (highlighted with a red box), and 'アクセス履歴ダウンロード'. Below the tabs, there is a text prompt: 'ユーザのMagicConnectアクセス履歴を月単位で表示します。' and a date selection field showing '表示年月' as '2022-03' and a time point '2022-03-02 16:15:39 +0900 時点'.

- (2) 「利用時間を日ごとに表示」画面に切り替わります。

The screenshot shows the '利用時間を日ごとに表示' view. It includes a navigation bar with the same tabs as above, but '利用時間を日ごとに表示' is now selected. The text prompt reads: '選択した日付における全てのユーザのリモートデスクトップ利用時間を表示します。' The date field shows '表示年月日' as '2022-05-30' and the time point as '2022-05-30 14:55:53 +0900 時点'. There is a '表示内容を更新' button and a '1 / 2 ページ目を表示中' indicator. A dropdown menu for '表示数' is set to '50'. The main content is a table with columns for 'ユーザ', '利用時間', '開始', '終了', and '計'.

ユーザ	利用時間	開始	終了	計
user.mc3000		-	-	-
user1		-	-	-
user2		-	-	-
user3		-	-	-
user4		-	-	-
user5		-	-	-
user6		-	-	-

利用時間を確認したい日付をクリックすると、確認する日付を変更できます。

(3) 「表示年月日」を選択します。

[全てを表示](#)
 [利用時間をユーザごとに表示](#)
 [利用時間を日ごとに表示](#)
 [アクセス履歴ダウンロード](#)

選択した日付における全てのユーザのリモートデスクトップ利用時間を表示します。

表示年月日

 
 2022-05-30 14:55:53 +0900 時点

[表示内容を更新](#)

(4) 確認したい利用時間の日付をクリックします。

カレンダー上部の矢印をクリックすると、別の月に遷移することができます。


2022年05月

日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

[全てを表示](#)
 [利用](#)

[利用時間を日ごとに表示](#)
 [アクセス履歴ダウンロード](#)

表示年月日

 
 2022-05-30 14:55:53 +0900 時点

[表示内容を更新](#)

2.6. アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)

3種類のアクセス履歴を、CSV形式でダウンロードできます。

- サーバへの接続履歴
- ビューア・クライアント間の接続履歴
- 利用時間データ

(1) アクセス履歴画面で「アクセス履歴ダウンロード」タブをクリックします。

The screenshot shows the top navigation bar with four tabs: '全てを表示', '利用時間をユーザごとに表示', '利用時間を日ごとに表示', and 'アクセス履歴ダウンロード' (highlighted with a red box). Below the tabs, there is a text prompt: 'ユーザのMagicConnectアクセス履歴を月単位で表示します。' Underneath, there are input fields for '表示年月' (set to 2022-03) and a date-time field (2022-03-02 19:09:06 +0900 時点). A '表示設定' section contains radio buttons for '種別' (selected: 'ビューアのみ') and '認証結果' (selected: '認証に成功した接続のみ').

(2) 「アクセス履歴ダウンロード」画面に切り替わります。

The screenshot shows the 'アクセス履歴ダウンロード' tab selected in the top navigation. The main heading is 'アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)'. Below it, there is explanatory text: '指定した期間のアクセス履歴データのCSVファイルをダウンロードできます。対象年月を選択して「指定対象のダウンロードリンクを表示」ボタンを押してください。' There is an input field for '対象年月' (set to 2022-05) and a '指定対象のダウンロードリンクを表示' button. Below this, a table shows the selected month and user: '対象年月 2022-05' and '対象アカウント管理者 ms9999999a00000'. A note states: '下記のダウンロードリンクから対象期間のCSVファイルのダウンロードが行えます。' Three download links are listed: 'サーバへの接続履歴をダウンロード' (with file 'history_base_202205_1.csv'), 'ビューア・クライアント間の接続履歴をダウンロード' (with file 'history_remote_202205_1.csv'), and '利用時間データをダウンロード' (with file 'history_usage_202205_1.csv').

2.6.1. 「サーバへの接続履歴」をCSV形式でダウンロードする

ビューア及びクライアントがマジックコネクトサーバへ接続した履歴を CSV 形式でダウンロードします。この履歴には認証エラーの履歴も含まれます。

全てを表示
利用時間をユーザごとに表示
利用時間を日ごとに表示
アクセス履歴ダウンロード

アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)

指定した期間のアクセス履歴データのCSVファイルをダウンロードできます。
対象年月を選択して「指定対象のダウンロードリンクを表示」ボタンを押してください。

対象年月

指定対象のダウンロードリンクを表示

対象年月	2022-03	対象アカウント管理者	account.admin
------	---------	------------	---------------

下記のダウンロードリンクから対象期間のCSVファイルのダウンロードが行えます。

- **サーバへの接続履歴をダウンロード**
 - 📄 history_base_202203_1.csv : 1~10000件

「サーバへの接続履歴」をクリックすると、ダウンロードが開始されます。
 - 📄 history_remote_202203_1.csv : 1~10000件
- **ビューア・クライアント間の接続履歴をダウンロード**
 - 📄 history_usage_202203_1.csv : 1~10000件

■ 「サーバへの接続履歴」の項目について

「サーバへの接続履歴」 CSV ファイルの各項目を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Manager	アカウント管理者のユーザ名。
2	User	ユーザ名。
3	Type	ビューアとクライアントのどちらの履歴か。 「Viewer」：ビューアの履歴 「Agent」：クライアントの履歴
4	Start	接続の開始日時。※1
5	Finish	接続の終了日時。※1
6	Length	接続の開始から終了までの時間（単位は秒）。
7	IP address	ビューアやクライアントが動作する端末のグローバル IP アドレス。
8	MAC address	ビューアやクライアントが動作する端末の MAC アドレス。※2
9	Login result	認証結果。 「success」：認証に成功した履歴。 「failure」：認証に失敗した履歴。
10	Failure reason (Error code)	認証失敗理由。認証成功の場合は「-」

※1 日時のフォーマットは「西暦年-月-日 時:分:秒」（例: 2014-09-17 21:32:29）です。

ただし、エクセルで開いた場合、表示上のフォーマットはエクセルの設定に従いますのでご注意ください。（例: 2014/9/17 21:32）

※2 端末に有効な MAC アドレスが複数存在する場合（例: 端末に有線 LAN 機能と無線 LAN 機能の 2 つが存在する場合）、それぞれの MAC アドレスは縦棒「|」で連結されます。ビューアやクライアントのバージョンが 8.2r1 未満の場合、空になります。iOS と Android の場合、ビューアのバージョンが 8.2r1 以降であっても、OS の制約から固定値「02-00-00-00-00-00」になります。

2.6.2. 「ビューア・クライアント間の接続履歴」をCSV形式ファイルでダウンロードする
リモートデスクトップやWOL等のリモート操作アプリによる、ビューア・クライアント間（手元端末から接続先機器）の接続履歴をCSV形式でダウンロードします。

全てを表示
利用時間をユーザごとに表示
利用時間を日ごとに表示
アクセス履歴ダウンロード

アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)

指定した期間のアクセス履歴データのCSVファイルをダウンロードできます。
対象年月を選択して「指定対象のダウンロードリンクを表示」ボタンを押してください。

対象年月

2022-03

🗑️

指定対象のダウンロードリンクを表示

対象年月	2022-03	対象アカウント管理者	account.admin
------	---------	------------	---------------

下記のダウンロードリンクから対象期間のCSVファイルのダウンロードが行えます。

- **サーバへの接続履歴をダウンロード**
 - 📄 [history_base_202203_1.csv](#) : 1~10000件
- **ビューア・クライアント間の接続履歴をダウンロード**
 - 📄 [history_remote_202203_1.csv](#) : 1~10000件
- **利用時間データをダウンロード**
 - 📄 [history_usage_202203_1.csv](#) : 1~10000件

「ビューア・クライアント間の接続履歴」をクリックすると、ダウンロードが開始されます。

■ 「ビューア・クライアント間の接続履歴」の項目について

「ビューア・クライアント間の接続履歴」 CSV ファイルの各項目を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Viewer manager	接続元ビューアのアカウント管理者。
2	Viewer user	接続元ビューアのユーザ名。
3	Viewer IP address	接続元ビューアが動作する端末のグローバル IP アドレス。
4	Viewer MAC address	接続元ビューアが動作する端末の MAC アドレス。※1
5	Agent manager	接続先クライアントのアカウント管理者。
6	Agent user	接続先クライアントのユーザ名。
7	Agent IP address	接続先クライアントが動作する端末のグローバル IP アドレス。
8	Agent MAC address	接続先クライアントが動作する端末の MAC アドレス。※1
9	Dest port	リモート操作アプリが使用した接続先ポート番号。 通常、リモートデスクトップの場合は「3389」、WOL の場合は「5009」。
10	Start	ビューア・クライアント間接続の開始日時。※2
11	Finish	ビューア・クライアント間接続の終了日時。※2
12	Length	ビューア・クライアント間接続の開始から終了までの時間（単位は秒）。

※1 端末に有効な MAC アドレスが複数存在する場合（例: 端末に有線 LAN 機能と無線 LAN 機能の 2 つが存在する場合）、それぞれの MAC アドレスは縦棒「|」で連結されます。ビューアやクライアントのバージョンが 8.2r1 未満の場合、空になります。iOS と Android の場合、ビューアのバージョンが 8.2r1 以降であっても、OS の制約から固定値「02-00-00-00-00-00」になります。

※2 日時のフォーマットは「西暦年-月-日 時:分:秒」（例: 2014-09-17 21:32:29）です。

ただし、エクセルで開いた場合、表示上のフォーマットはエクセルの設定に従いますのでご注意ください。（例: 2014/9/17 21:32）

2.6.3. 全てのユーザの利用時間を CSV 形式でダウンロードする

指定した年月の全てのユーザの利用時間を、CSV 形式でダウンロードすることができます。

全てを表示
利用時間をユーザごとに表示
利用時間を日ごとに表示
アクセス履歴ダウンロード

アクセス履歴ダウンロード(CSV形式)

指定した期間のアクセス履歴データのCSVファイルをダウンロードできます。
対象年月を選択して「指定対象のダウンロードリンクを表示」ボタンを押してください。

対象年月

指定対象のダウンロードリンクを表示

対象年月	2022-03	対象アカウント管理者	account.admin
------	---------	------------	---------------

下記のダウンロードリンクから対象期間のCSVファイルのダウンロードが行えます。

- **サーバへの接続履歴をダウンロード**
 - [history_base_202203_1.csv](#) : 1~10000件
- **ビューア・クライアント間の接続履歴をダウンロード**
 - [history_remote_202203_1.csv](#) : 1~10000件
- **利用時間データをダウンロード**
 - history_usage_202203_1.csv : 1~10000件

「利用時間データをダウンロードする」をクリックすると、ダウンロードが開始されます。

■ 「利用時間データ」の項目について。

「利用時間データ」CSV ファイルの各項目を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Date	日付。※1
2	User	ユーザ名。
3	Start	リモートアクセス開始時刻。※2 ※3
4	Finish	リモートアクセス終了時刻。※2 ※3
5	Total	リモートアクセスしていた時間の合計。※2

※1 日付のフォーマットは「西暦年/月/日」(例:2018/01/24)です。

※2 Start, Finish, Total に「-」が出力された行が含まれる場合があります。これは、該当する日にそのユーザの接続が無いことを表します。

例) 「2018/01/05, user001, -, -, -」 ユーザ user001 による接続が存在しない。

※3 Start, Finish の時刻に「*」が付いた行が含まれる場合があります。これは、日を跨いだ接続を表します。

例) 「2018/02/25, user002, 9:25, 24:00*, 14:35」 ユーザ user002 による接続が日を跨いでいる。

3. ユーザ管理

本機能を利用することで一般ユーザの設定を変更できます。

3.1. 管理する一般ユーザを一覧で表示する	31
3.2. 契約情報を確認する	33
3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する	34
3.4. アプリケーションの自動更新を強制的に有効化/無効化する	39
3.5. ビューアをインストールした手元端末を変更する	41
3.6. 一般ユーザのアカウントロックを手動で解除する	44
3.7. 一般ユーザが管理機能に使う多要素認証を解除する	47
3.8. ビューア・クライアントの接続状況を確認する	49
3.9. ビューア・クライアントを強制切断する	50
3.10. 一般ユーザのパスワードを変更する	51
3.11. 一般ユーザにメモを登録する	51
3.12. マジックコネクトを利用できるネットワークや端末を限定する	52
3.12.1. マジックコネクトを利用できるネットワークをグローバル IP アドレスで限定する	53
3.12.2. マジックコネクトを利用できる端末を MAC アドレスで限定する	56
3.12.3. マジックコネクトを利用できる端末をウイルス対策された端末のみに限定する	59
3.13. アプリケーションの機能制限を変更する	61
3.13.1. Windows PC の手元端末からの生体認証/PIN によるログオンを許可/禁止する	62
3.13.2. モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へのパスワード保存を許可/禁止する	64
3.13.3. デバイス共有を許可/禁止する	66
3.13.4. 高品質映像モードを強制的に有効/無効にする	70
3.14. 通信速度を制限する	73
3.15. 複数ユーザの設定をまとめて操作する	74
3.15.1. 「一括操作」画面を表示する	75
3.15.2. 利用許可設定を一括で設定する	76
3.15.3. 端末認証情報を一括で初期化する	83
3.15.4. アプリケーションの詳細設定を一括で設定する	86
3.15.5. 通信速度制限を一括で設定する	108
3.15.6. ユーザのメモを詳細設定を一括で設定する	108
3.16. ユーザの契約情報を確認する	109
3.17. ユーザが利用しているビューアとクライアントの種別とバージョンを確認する	111
3.18. ユーザが最後に利用した際の情報を一覧で確認する	113

3.1. 管理する一般ユーザを一覧で表示する

自身が管理するユーザを一覧で確認したい場合に本機能を利用します。

(1) ユーザ一覧を表示するには、トップ画面から「ユーザ管理」をクリックします。



(2) 「一般ユーザ一覧」画面に切り替わります。

The screenshot shows the '一般ユーザ一覧' (General User List) page. At the top, there is a summary box with the following information:

- 通常サービス 契約ユーザ数: 8
- BCPあんしんサービス 契約ユーザ数: 1

Callouts provide additional context:

- A light blue callout box states: 契約ユーザ数（一般ユーザの数）が表示されます。「BCP あんしんサービス」の契約ユーザ数は、「BCP あんしんサービス」の契約がある場合のみ表示されます。
- A light blue callout box points to the '契約ID: 123456789' field, stating: 契約 ID を確認できます。
- A light blue callout box points to the main table, stating: 一般ユーザの一覧が表示されます。

The main table displays a list of users with the following columns: ユーザ名 ▲, タイプ, USBロット番号, サービス提供開始日, サービス解約日, BCP, and メモ. The table contains five rows of user data:

ユーザ名 ▲	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP	メモ
account.a	USB型	2108L006500000	2021-01-02	-	-	営業部
account.b	USB型	070007088DEB031B	2021-01-02	-	-	経理部
account.c	アプリ型	-	2021-01-02	-	-	-
account.d	アプリ型	-	2021-01-02	-	-	-
account.e	アプリ型ライト	-	2021-01-02	-	-	-

At the bottom of the page, there is a search bar with the text 'ユーザ名またはメモ' and a '検索' button. Below the search bar is a pagination control showing '<< < 1 > >>'.

■ユーザー一覧画面の表示内容を説明します。

列	項目名	説明
1	ユーザー名	ユーザー名。
2	タイプ	契約のタイプ。
3	USB ロット番号	USB キーのロット番号。USB 型/USB 型プレミアム以外の契約では「-」
4	サービス提供開始日	利用可能になる日付。※1
5	サービス解約日	解約日。解約予定のないユーザは「-」 ※1
6	BCP	BCP あんしんサービスの加入状況。 加入している場合は「○」、加入していない場合は「-」
7	メモ	ユーザのメモ。設定されていない場合は「-」

※1 日付のフォーマットは「西暦年-月-日」(例: 2022-01-01)です。

3.2. 契約情報を確認する

ユーザの契約内容、有効期限などを確認するために本機能を利用します。

(1) 契約情報を確認したいユーザを選択します。

アカウント目録名account.adminに所属するユーザ一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

契約ID: 000000

検索

ユーザ名	タイプ				
user1	USB型				
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-

ユーザ名やメモで検索で絞り込むこともできます。

(2) 画面が切り替わり、選択したユーザの契約情報が確認できます。

user1 選択したユーザ名が表示されます。

一般ユーザuser1の詳細を表示しています。

ご契約情報

タイプ	USB型	契約のタイプが表示されます。
USBロット番号	0000#00000	利用可能な USB のロット番号が表示されます。
利用可能な端末数	<u>2台の端末を登録してご利用いただけます。</u>	ビューアアプリケーションをインストールして利用可能な手元端末の上限数が表示されます。
サービス提供開始日	2022-01-01	利用開始日が表示されます。
サービス解約日	-	解約日が表示されます。
BCPあんしんサービス	-	BCP あんしんサービスの加入状況が表示されます。加入している場合は「加入中」、加入していない場合は「-」が表示されます。

3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する

利用可能なアプリケーションや利用可能な台数の変更をする場合に本機能を利用します。

以下のアプリケーションについて個別に利用可否を設定できます。手元端末にインストールして利用するビューアアプリケーションについては契約の範囲で利用可能な台数を変更できます。

- 手元端末の [ビューア]
 - USB タイプ (※契約のタイプが USB 型/USB 型プレミアムの場合のみ)
 - インストールタイプ
 - デスクトップ (Windows/Mac)
 - モバイル (iPhone/iPad、Android 端末)
- 接続先機器 (対象機器、オフィス PC) の [クライアント]
- [管理機能]

(1) 確認・変更したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

一括操作

契約ID: 000000 検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCF
user1	USB型	0000			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
...	モバイル型		2022-01-01		

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

(2) 「利用可能なアプリケーション」を確認します。

利用可能なアプリケーション

ビューア (手元端末)	USBタイプ USBキーを挿して使います	利用可能です	利用を禁止	
	インストールタイプ 端末にインストールして使います	デスクトップ Windows/Mac用	利用可能です	利用を禁止
		モバイル iOS/Android用	利用可能です	利用を禁止
		利用可能な端末数を <input type="text" value="0"/> 台に制限する (最大2台)		適用
クライアント (接続先機器)	利用可能です		利用を禁止	
管理機能	利用可能です		利用を禁止	

※ 「ビューア (手元端末)」「インストールタイプ」の「利用可能な端末数」について

ビューアアプリケーションを手元端末にインストールして利用する場合、初回ログイン時に手元端末の固有情報 (端末認証情報) がサーバへ登録されます。

利用可能な端末数まで手元端末が登録されると、新しい手元端末からはログインできなくなります。

- 利用可能な端末数は契約の範囲 (下の表に記載の範囲) で変更が可能です。
- 端末数の内訳に制限はありません。利用可能な端末数が3台の場合、「Windows と iPhone と iPad」、「iPhone2台と Android 端末1台」など自由な組み合わせが可能です。

「USB型」契約 「USB型プレミアム」契約	0~2台 (初期状態は0台) (手元端末にビューアアプリケーションをインストールして使う場合の台数です。USBキーを挿してビューアアプリケーションを起動する場合は無制限に利用できます。)
「アプリ型」契約 「アプリ型プレミアム」契約	0~3台 (初期状態は1台)
「アプリ型ライト」契約	0~1台 (初期状態は1台)

■アプリケーションの利用可能台数を変更する

※ 実際に利用するよりも多い台数を指定すると、ユーザ名とパスワードだけでビューアを利用可能な枠が生じます。第三者による悪用を防止するため、必要以上の台数を指定した状態を長期間放置しないでください。

利用可能なアプリケーション

ビューア (手元端末)	USBタイプ USBキーを押して使います	利用可能です	利用を禁止	
	インストールタイプ 端末にインストールして使います	デスクトップ Windows/Mac用	利用可能です	利用を禁止
		モバイル iOS/Android用	利用可能です	利用を禁止
		利用可能な端末数を <input type="text" value="0"/> 台に制限する (最大2台)		適用
クライアント (接続先機器)		① 数値を変更します。	利用を禁止	
管理機能	利用可能です		② [適用]を押します。	

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します

確認 ×

利用可能な端末数制限を変更します。
よろしいですか？

■アプリケーションの利用を禁止する

利用可能なアプリケーション

ビューア (手元端末)	USBタイプ USBキーを押して使います	利用可能です		利用を禁止
	インストールタイプ 端末にインストールして使います	デスクトップ Windows	利用可能です	利用を禁止
		モバイル iOS/Android用	利用可能です	利用を禁止
		利用可能な端末数を 0 台に制限する (最大2台)		適用
クライアント (接続先機器)	利用可能です		利用を禁止	
管理機能	利用可能です		利用を禁止	

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。



③ 更新に成功すると「利用が禁止されています」と表示されます。

利用が禁止されています

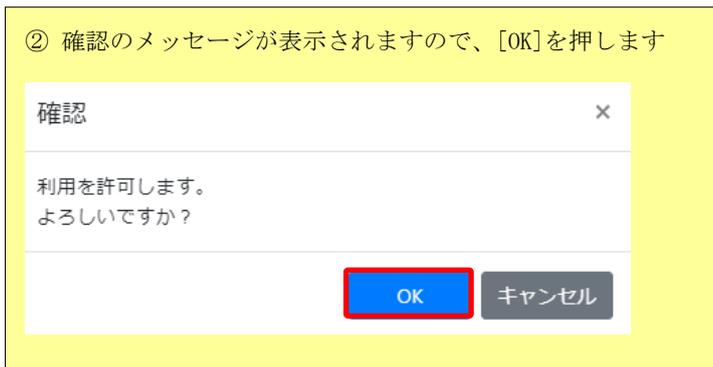
利用を許可

■アプリケーションの利用を許可する

| 利用可能なアプリケーション

ビューア (手元端末)	USBタイプ USBキーを押して使います	利用が禁止されています	利用を許可
	インストールタイプ 端末にインストールして使います	デスクトップ Windows/Mac用	① [利用を許可]を押します。 利用を禁止
		モバイル iOS/Android用	利用可能です 利用を禁止
	利用可能な端末数を <input type="text" value="0"/> 台に制限する (最大2台)		適用
クライアント (接続先機器)	利用可能です	利用を禁止	
管理機能	利用可能です	利用を禁止	

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します



3.4. アプリケーションの自動更新を強制的に有効化/無効化する

Windows PC にインストールするビューアアプリとクライアントプログラムには、自動更新機能があります。

初期状態では自動更新機能は無効化されていて、利用者が設定を変更することにより有効化されます。利用者の設定に依存せず、自動更新を強制的に有効化/無効化する手順をご案内します。

※本機能は、Ver9.0（2025年1月リリース）以降のビューアアプリやクライアントプログラムのみ
に適用されます。Ver9.0より過去のバージョンの場合には、アカウント管理者による強制はできず、
ビューアアプリとクライアントプログラムの設定に従います。

※ビューアアプリの場合、更新の有無をチェックし利用者に通知する機能です。利用者が拒否した場
合は更新されません。

※USBキーから起動するビューアアプリには自動更新機能が無く、本機能の影響を受けません。

※Mac、iPhone/iPad、Android 端末など、Windows PC 以外にインストールするビューアアプリの
場合はアプリストアの動作に従います。

アプリケーションの自動更新	<p><input checked="" type="radio"/> 任意</p> <p><input type="radio"/> 強制的に有効にする</p> <p><input type="radio"/> 強制的に無効にする</p> <p>※「強制的に有効にする / 無効にする」にした場合は、当該のユーザがビューアアプリ、クライアントプログラムの設定を変更できなくなります。</p> <p>※「強制的に有効にする / 無効にする」は、ビューアアプリやクライアントプログラムのバージョンが9.0r1以上の場合のみ適用されます。9.0r1より前にリリースされたバージョンの場合には、ビューアアプリやクライアントプログラムの自動更新設定に従います。</p> <p style="text-align: center;">自動更新設定を変更</p>
---------------	---

● 「任意」の場合

利用者による設定に従います。

ビューアアプリの設定画面

更新の有無を自動的にチェックする オフ 更新の有無を自動的にチェックする オン

クライアントプログラムの設定画面

自動更新を有効にする オフ 自動更新を有効にする オン

- 「強制的に有効にする」場合

設定が強制的にオンになり、利用者は変更できません。

ビューアアプリの設定画面

更新の有無を自動的にチェックする オン

クライアントプログラムの設定画面

自動更新を有効にする オン

- 「強制的に無効にする」場合

設定が強制的にオフになり、利用者は変更できません。

ビューアアプリの設定画面

更新の有無を自動的にチェックする オフ

クライアントプログラムの設定画面

自動更新を有効にする オフ

3.5. ビューアをインストールした手元端末を変更する

ビューアアプリケーションを手元端末にインストールして利用する場合、初回ログイン時に手元端末の固有情報（端末認証情報）がサーバへ登録されます。

利用可能な端末数まで手元端末が登録されると、新しい手元端末からはログインできなくなります。新しい手元端末からログインできるようにするには次の何れかの操作が必要です。

- a. 利用可能な端末数が契約の上限に達していない場合、利用可能な端末数を増やす。
- b. サーバに登録された端末認証情報を初期化する（登録を解除する）。

利用可能な端末数を増やす手順については [3.3. 利用可能なアプリケーションと台数を変更する](#) をご確認ください。

ここでは、サーバに登録された端末認証情報を初期化する（登録を解除する）手順をご案内します。

なお、初期化時にサーバへ接続中の手元端末は、接続を解除するまで利用を継続できます。

■ 端末認証情報の登録状況を確認する

- (1) 確認したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID: 000000 検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

(2) 「ビューア（手元端末）」「インストールタイプ」の「利用可能な端末数」を確認します。

利用可能なアプリケーション

ビューア（手元端末）	インストールタイプ 端末にインストールして使います	デスクトップ Windows/Mac用	利用可能です	利用を禁止
		モバイル iOS/Android用	利用可能です	利用を禁止
		利用可能な端末数を <input type="text" value="1"/> 台に制限する (最大3台)		適用
クライアント（接続先機器）	利用可能です			利用を禁止
管理機能	利用可能です			利用を禁止

(3) 「端末認証情報の登録状況」を確認します。

端末認証情報の登録状況

デスクトップ登録済み 端末名：20017109-0 端末のOS：Windows 登録時刻：2022-03-02 15:42:05 +0900	初期化
---	-----

登録されている台数分の情報が表示されます。

（上記の例は Windows/Mac の場合です。iPhone/iPad、Android 端末の場合は「モバイル登録済み」と表示されます。）

「利用可能な端末数」の数まで端末認証情報が登録されていると、新しい手元端末からはログインできません。

■登録されている端末を初期化する

(1) 端末認証情報の登録を解除したい端末の[初期化]ボタンを押します。

| 端末認証情報の登録状況

デスクトップ登録済み

端末名 : 20017109-0

端末のOS : Windows

登録時刻 : 2022-03-02 15:42:05 +0900

① [初期化]を押します。

初期化

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]をします。

確認

×

サーバに登録されている端末認証情報が初期化されます。
よろしいですか？

OK

キャンセル

3.6. 一般ユーザのアカウントロックを手動で解除する

一般ユーザの管理機能へのログインが無効化（アカウントロック）され、自動解除がされる前に手動で解除する場合に、本機能を利用します。

管理機能へのログイン時にユーザ名、あるいはパスワードが誤っていると「ユーザ名またはパスワードに誤りがあります。」のメッセージが表示されます。

連続して5回失敗すると、そのユーザ名によるログインは約30分間無効化されます。

連続して5回失敗すると・・・

アカウントがロック

ユーザ名とパスワードを入力してください。

※アカウント管理者でログインする場合は、アカウント管理者のユーザ名を入力してください。

ユーザ名とパスワードを入力してください。

※アカウント管理者でログインする場合は、アカウント管理者のユーザ名を入力してください。

ユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

ユーザ名

パスワード

ログイン

このアカウントは一時的な無効状態です。

ユーザ名

パスワード

ログイン



- 同じユーザ名でログイン失敗を5回繰り返すと、アカウントが一時的に無効化されます。
- アカウントが一時的な無効化状態になると、自動解除されるまで待機するか管理者が解除操作を実施するまで管理機能へログインできなくなります。



- ログイン失敗が繰り返されたため、管理機能へのログインが一時的に無効化されています。
- 管理機能にログインするためには、無効化状態が自動解除されるまで待機するか管理者に解除操作を依頼する必要があります。

ロックが解除されるまで、管理画面にログインできなくなります。

なお、ログイン無効化は、マジックコネクトのビューアとクライアントの接続認証には影響を与えません。マジックコネクトはこれまで通りご利用いただけます。

(1) アカウントロックを解除するユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000 検索

ユーザ名	タイプ	USBロック番号	アカウント有効期限	パスワード有効期限	CP
user1	USB型	0000#0000	2022-01-01	-	-
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<< < 1 > >>

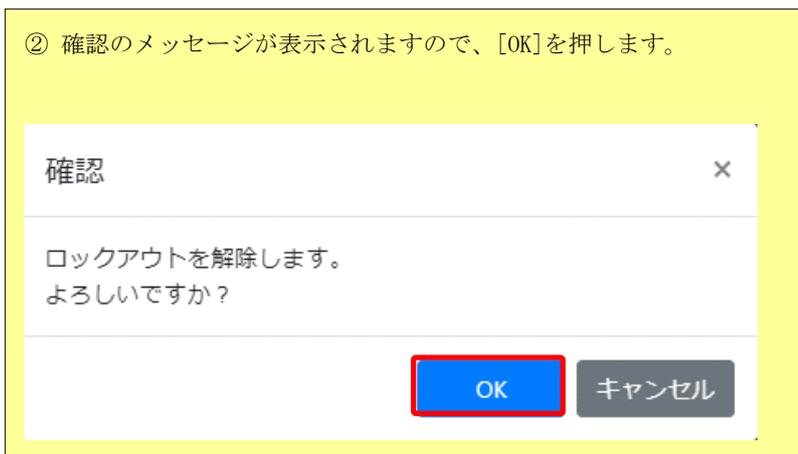
ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

(2) 利用可能なアプリケーションで管理機能の[ロックアウトを解除]ボタンを押します。

利用可能なアプリケーション

ビューア (手元端末)	USBタイプ <small>USBキーを押して使います</small>	利用可能です	利用を禁止	
	インストールタイプ <small>端末にインストールして使います</small>	デスクトップ <small>Windows/Mac用</small>	利用可能です	利用を禁止
		モバイル <small>iOS/Android用</small>	利用可能です	利用を禁止
		利用可能な	① [ロックアウトを解除]を押します。	
クライアント (接続先機器)	利用可能です		利用を禁止	
管理機能	ログイン失敗を繰り返したため、一時的にロックアウトされています。 ロックアウト時刻：2022-06-26 20:12:47 +0900		ロックアウトを解除	

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。



3.7. 一般ユーザが管理機能に使う多要素認証を解除する

一般ユーザが管理機能へのログインに使っているスマートフォン（ワンタイムパスワードアプリケーション）を利用できなくなった場合など、アカウント管理者が多要素認証を解除する際に本機能を利用します。

- (1) 多要素認証を解除するユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番			
user1	USB型	0000#00000	2022-01-01	-	-
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

<< < 1 > >>

- (2) [利用可能なアプリケーション]>[管理機能]>[多要素認証を使用しています]の
[設定を解除]ボタンを押します。

利用可能なアプリケーション	
管理機能	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 利用可能です 利用を禁止 </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 多要素認証を使用しています 設定を解除 </div>

- (3) 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。

確認 ×

設定を解除するとワンタイムパスワードの登録状態が初期化され、再度使用するにはワンタイムパスワードのセットアップを最初からやり直す必要があります。
設定を解除します。よろしいですか？

OK
キャンセル

- (4) [利用可能なアプリケーション]>[管理機能]の表示が[多要素認証を使用していません]に変化します。

利用可能なアプリケーション	
管理機能	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 利用可能です 利用を禁止 </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 多要素認証を使用していません </div>

3.8. ビューア・クライアントの接続状況を確認する

ビューアとクライアントの接続状況を確認する場合に本機能を利用します。

- (1) 接続状況を確認したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	RCP
user1	USB型	0000#00000			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

- (2) 「接続状況」を確認します。

接続状況	
ビューア (手元端末)	現在接続されていません。
クライアント (接続先機器)	現在接続されていません。

接続中の場合は、以下のように接続開始時刻と[切断]ボタンが表示されます。

接続状況	
ビューア (手元端末)	現在接続されています。 接続開始時刻 2022-03-01 16:59:28 +0900
クライアント (接続先機器)	現在接続されていません。

3.9. ビューア・クライアントを強制切断する

ビューアまたはクライアントの接続を強制的に切断したい場合に本機能を利用します。

- (1) 強制切断したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID: 000000 検索

ユーザ名	タイプ	USBポート番号	接続開始時刻	接続終了時刻	BCP
user1	USB型	0000#00000			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
...	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

- (2) 接続状況から切断したいビューアまたはクライアントの[切断]ボタンを押します。

接続状況

ビューア (手元端末)	現在接続されています。 接続開始時刻 2022-03-01 16:59:28 +0900	切断
クライアント (接続先機器)	現在接続されていません。	

① [切断]を押します。

② 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。

確認 ×

強制切断されます。
よろしいですか?

OK
キャンセル

3.10. 一般ユーザのパスワードを変更する

管理する一般ユーザのパスワードを変更する場合に本機能を利用します。

解説や手順は Web ページ [「アカウント管理者が一般ユーザのパスワードを強制変更する \(マジックコネクト・ネオ\)」](#) を参照してください。

3.11. 一般ユーザにメモを登録する

一般ユーザに「メモ」を登録し、ユーザの識別を容易にすることができます。

解説や手順は Web ページ [「ユーザ情報にメモを登録してユーザ管理を楽にする」](#) を参照してください。

3.12. マジックコネクトを利用できるネットワークや端末を限定する

- マジックコネクトを利用できるネットワークをグローバル IP アドレスで限定する
- マジックコネクトを利用できる端末を MAC アドレスで限定する
- マジックコネクトを利用できる端末をウイルス対策された端末のみに限定する

上記の場合に、本機能を利用します。

本機能で変更した設定は、マジックコネクトサーバに接続中のビューアやクライアントには影響を及ぼしません。

次回の接続認証から有効となります。

3.12.1. マジックコネクトを利用できるネットワークをグローバル IP アドレスで限定する

ユーザごとに、マジックコネクトを利用できるグローバル IP アドレスを制限することで、ネットワークを限定します。

各ユーザのグローバル IP アドレスは、「2. アクセス履歴の表示」の「接続元アドレス」にて確認できます。

下図のアクセス履歴の表示では、ビューア（手元端末）のグローバル IP アドレスは、124.146.214.200、クライアント（接続先機器）のグローバル IP アドレスは、198.51.100.1 です。

種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス
client	03/01 16:48:32	03/01 16:49:57	1分 25秒	198.51.100.1
viewer	03/02 15:40:20	03/02 15:40:27	6秒	124.146.214.200

ここでは、ユーザ「user1」のクライアント（接続先機器）に対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

1. グローバル IP アドレス 198.51.100.1 のネットワークからの接続を許可する。
2. 上記 1 に該当しないネットワークからの接続を禁止する。

(1) 接続を制限したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
 ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000 Q 検索

ユーザ名	タイプ	USBポート番号	接続提供開始日	接続解除日	BCP
user1	USB型	0000#			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<< < 1 > >>

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

- (2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「クライアント(接続先機器)の IP アドレス制限」を以下の手順で更新します。

アプリケーションの詳細設定

パスワード保存設定	<input checked="" type="checkbox"/> マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する <input type="checkbox"/> Windowsログオンパスワードの保存を許可する
リモートデスクトップ設定	<input type="checkbox"/> プリンター共有許可 <input type="checkbox"/> ドライブ共有許可 <input type="checkbox"/> クリップボード共有許可 <input type="checkbox"/> スマートカード共有許可 <input type="checkbox"/> シリアルポート共有許可 <input type="checkbox"/> プラグアンドプレイ(PnP)デバイス共有許可 <hr/> PrintScreenキー使用許可 <input checked="" type="radio"/> 一部許可する <small>リモートデスクトップが全画面表示の時に限り許可します。 撮った画面イメージはリモートデスクトップ画面内から取り出せません。</small> <input type="radio"/> 全て許可する <input type="radio"/> 全て許可しない
ビューア(手元端末)のIPアドレス制限	<input type="button" value="挿入"/> 全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する
クライアント(接続先機器)のIPアドレス制限	<input type="button" value="挿入"/> <input type="text" value="198.51.100.1"/> / <input type="text" value="255.255.255.255"/> <input type="button" value="削除"/> を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する <input type="button" value="挿入"/> <input type="text" value="リストに適合しない接続を"/> <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する

① [挿入]を押します。入力欄が表示されるので、IPアドレスとサブネットマスクを入力し、「許可する」を選びます。

② 上記①で設定したIPアドレス以外からの接続があった場合の設定として、「禁止する」を選びます。

③ [アプリケーションの詳細設定を更新]を押します。

※サブネットマスクの設定により、ネットワークアドレス単位での制限も可能です。
 ※同じ IP アドレスに対し、複数の制限設定がされている場合、より上段の設定が優先されます。

3.12.2. マジックコネクトを利用できる端末を MAC アドレスで限定する

ユーザごとに、マジックコネクトを利用できる端末の MAC アドレスを制限することで、端末を限定します。

※ 本機能は「アプリ型ライト」では利用できません。

各ユーザの MAC アドレスは、「2. アクセス履歴の表示」の「MAC アドレス」にて確認できます。

種別	接続開始時刻	接続終了時刻 ▲	接続時間	接続元アドレス	MACアドレス
viewer	05/11 15:17:35	05/11 15:21:44	4分 8秒	114.114.114.114	AA-BB-CC-DD-EE-FF
client	05/11 17:35:07	05/11 18:13:12	38分 5秒	114.114.114.114	AA-BB-CC-DD-EE-FF

※ 本機能を利用する場合、ビューアやクライアントのバージョンを 8.2r1 以降にしてください。
8.2r1 未満の場合、MAC アドレスが空になります。

※ iOS と Android の場合、ビューアのバージョンが 8.2r1 以降であっても、OS の制約から MAC アドレスは固定値「02-00-00-00-00-00」になります。

ここでは、ユーザ「user1」のビューア（手元端末）に対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

1. MAC アドレス AA-BB-CC-DD-EE-FF を持つ端末からの接続を許可する。
2. 上記 1 に該当しない端末からの接続を禁止する。

(1) 接続を制限したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
 ユーザの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000 🔍 検索

ユーザ名	タイプ	USBポート番号	接続提供開始日	接続解除日	BCP
user1	USB型	0000#0000			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<< < 1 > >>

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

(2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「ビューア(手元端末)のMACアドレス制限」を以下の手順で更新します。

<p>ビューア(手元端末)のMACアドレス制限</p>	<p>挿入</p> <p>AA-BB-CC-DD-EE-FF</p> <p>削除</p> <p>を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する</p>	
<p>クライアント(接続先機器)のMACアドレス制限</p>	<p>挿入</p> <p>リストに適合しない接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する</p>	<p>① [挿入]を押します。 入力欄が表示されるので、MACアドレスを入力し、「許可する」を選びます。 (画像はAA-BB-CC-DD-EE-FFの書式ですが、AA:BB:CC:DD:EE:FFの書式でも入力できます)</p>
	<p>挿入</p> <p>全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する</p>	<p>② 上記①で設定したIPアドレス以外からの接続があった場合の設定として、「禁止する」を選びます。</p> <p>③ [アプリケーションの詳細設定を更新]を押します。</p>

※複数のMACアドレスを持つ手元端末の場合

ノートPCなど、複数のネットワークアダプター(有線LAN/無線LAN/内蔵SIM)が存在する端末の場合、ネットワークアダプターに紐付いたMACアドレスはすべて制限設定の対象です。

複数のネットワークアダプターが存在する場合、MACアドレスをすべて制限設定に登録してください。

<p>ビューア(手元端末)のMACアドレス制限</p>	<p>挿入</p> <p>AA-BB-CC-DD-EE-FF</p> <p>削除</p> <p>を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する</p>	<p>端末に存在するMACアドレスのうち、1つを登録します。</p>
	<p>挿入</p> <p>GG-HH-II-JJ-KK-LL</p> <p>削除</p> <p>を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する</p>	<p>[挿入]を押し、もう1つのMACアドレスを登録します。</p>
	<p>挿入</p> <p>リストに適合しない接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する</p>	

3.12.3. マジックコネクトを利用できる端末をウイルス対策された端末のみに限定する

ビューアが動作する Windows 端末の検疫状態が良好の場合のみ、マジックコネクトを利用可能とします。

- ※ 本機能は、契約のタイプが USB 型/USB 型プレミアム、アプリ型/アプリ型プレミアムの場合のみ利用可能です。
アプリ型ライトの場合は利用できません。

本機能を有効にした場合にビューアを利用可能な端末、利用できなくなる端末は次の通りです。

- ビューアを利用可能な端末
 - 「検疫状態が良好」(※) の Windows 端末で、ビューアのバージョンが 8.2r1 以降
 - iOS、Android 端末
- ビューアを利用できなくなる端末
 - 「検疫状態が良好」(※) ではない Windows 端末
 - ビューアのバージョンが 8.2r1 未満の Windows 端末
 - Mac 端末

※ 「検疫状態が良好」とは具体的には次の状態を指します。

[コントロール パネル]-[システムとセキュリティ]-[セキュリティとメンテナンス]-
[セキュリティ]内の、「ウイルス対策」の項目が「有効」であること

ユーザ「user1」に対し、本機能を有効化する手順を説明します。

(1) 設定を変更したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBポート番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#000			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

(2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「セキュリティチェック」を以下の手順で変更します。

セキュリティチェック
※Windowsのビューアのみ有効
※Macビューアをお使いの場合はチェックを外してください

ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好なときに、接続を許可する

挿入

ピュア（手元端末）のIPアドレス制限
全ての接続を 許可する 禁止する

挿入

クライアント（接続先機器）のMACアドレス制限
全ての接続を 許可する 禁止する

アプリケーションの詳細設定を更新

キャンセル

① 「ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好なときに、接続を許可する」にチェックを入れます。

② [アプリケーションの詳細設定を更新]を押します。

3.13. アプリケーションの機能制限を変更する

本機能により、以下の機能制限を変更することができます。

- Windows PC の手元端末からの、生体認証/PIN によるログオンを許可/禁止する。

初期状態は「禁止」です。

- モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へ、パスワードの保存を許可/禁止する。

初期状態は以下のとおりです。

パスワードの種類	保存
マジックコネクトログイン	許可
Windows ログオン	禁止

- リモートデスクトップ時の各種デバイス共有を許可/禁止する。

初期状態は以下のとおりです。(マジックコネクト (従来モデル) のNDL エディションと同じ状態です。)

デバイス共有の種類	共有許可
プリンター共有許可	禁止
ドライブ共有許可	禁止
クリップボード共有許可	禁止
スマートカード共有許可	禁止
シリアルポート共有許可	禁止
プラグ アンド プレイ (PnP) デバイス共有許可	禁止
Print Screen キー使用許可	一部許可する

- リモートデスクトップ時の高品質映像モードを強制的に有効化/無効化する。

初期状態は「任意」であり、利用者の設定に従います。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューアには適用されません。次回のマジックコネクトログイン時より適用されます。

3.13.1. Windows PCの手元端末からの生体認証/PINによるログオンを許可/禁止する

手元端末が Windows PC の場合、手元端末の生体認証/PIN を利用することで、ユーザ名やパスワードの入力無しにマジックコネクトのログインや接続先機器の Windows サインインが可能です。

初期状態では「禁止」のため、必要に応じて「許可」に設定してください。

※手元端末の生体認証/PIN を使ったログオン機能は、Ver9.0 以降のビューアアプリのみで利用できます。

- 「アプリ型ライト」の契約では利用できません。
- USB キーから起動するビューアアプリでは利用できません。

手元端末の生体認証/PIN によるログオンは、マジックコネクトのユーザ名/パスワードや接続先機器の Windows のユーザ名/パスワードを手元端末に「安全に (※1)」保存することで実現しています。

※1. Windows の秘匿領域に保存され、Windows の生体認証/PIN により保護されます。

手元端末の生体認証/PIN を使ったログオン機能に関する利用者向けの情報は [よくあるご質問](#) をご確認ください。

(1) 設定を変更したい一般ユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザ名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000 検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<< < 1 > >>

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

(2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「生体認証/PINの設定」欄を以下の手順で変更します。

① 「ログイン時に生体認証/PINの利用を許可する」のチェックを変更します。

アプリケーションの詳細設定

生体認証/PINの設定
※Windowsのビューアのみ有効

ログイン時に生体認証/PINの利用を許可する

許可する場合、マジックコネクトログインパスワードとWindowsログインパスワードの保存も許可されます。(USBキーで接続する場合は生体認証/PINの利用とログインパスワード保存ができません)

※ビューアアプリのバージョンが9.0r1以上で使用できます。

② [アプリケーションの詳細設定を更新]を押します。

アプリケーションの詳細設定を更新 キャンセル

③ 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。

確認 ×

入力した内容を反映させます。
よろしいですか?

OK キャンセル

3.13.2. モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)の手元端末へのパスワード保存を許可/禁止する

手元端末が iPhone/iPad、Android 端末の場合、パスワード (マジックコネクトのログインパスワード、Windows のログオンパスワード) の保存を許可/禁止できます。

ここでは、「user1」に対し下記の設定を行う手順を説明します。

- マジックコネクトのログインパスワードの保存を禁止
- Windows のログオンパスワードの保存を禁止

(3) 設定を変更したい一般ユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000

検索

ユーザ名	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#0			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

ユーザー名やメモで絞り込むこともできます。

<< < 1 > >>

(4) 「アプリケーションの詳細設定」にある「パスワード保存設定」欄を以下の手順で変更します。

① 「マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する」「Windowsログオンパスワードの保存を許可する」のチェックを外します。

アプリケーションの詳細設定

パスワード保存設定

マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する

Windowsログオンパスワードの保存を許可する

② [アプリケーションの詳細設定を更新]を押します。

アプリケーションの詳細設定を更新 キャンセル

③ 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。

確認

入力した内容を反映させます。
よろしいですか？

OK キャンセル

3.13.3. デバイス共有を許可/禁止する

手元端末が Windows PC の場合、リモートデスクトップのデバイス共有を許可/禁止できます。

※Mac、iPhone/iPad、Android 端末など、手元端末が Windows PC 以外の場合、デバイス共有を利用できません。

「user1」に対し、下記の設定を行う手順を説明します。

- プリンター共有を許可。それ以外のデバイス共有を禁止。
- Print Screen キーの使用を禁止

(1) 設定を変更したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000 検索

ユーザ名	タイプ	USBポート番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
user1	USB型	0000#000			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<< < 1 > >>

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

(2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「リモートデスクトップ設定」を以下の手順で変更します。

アプリケーションの詳細設定

パスワード保存設定	<input type="checkbox"/> マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する <input type="checkbox"/> Windowsログインパスワードの保存を許可する	
リモートデスクトップ設定	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> プリンター共有許可 <input type="checkbox"/> ドライブ共有許可 <input type="checkbox"/> クリップボード共有許可 <input type="checkbox"/> スマートカード共有許可 <input type="checkbox"/> シリアルポート共有許可 <input type="checkbox"/> プラグアンドプレイ(PnP)デバイス共有許可 </div> PrintScreenキー使用許可 <input checked="" type="radio"/> 一部許可する <small>リモートデスクトップが全画面表示の時に限り許可します。 撮った画面イメージはリモートデスクトップ画面内から取り出せません。</small> <input type="radio"/> 全て許可する <div style="border: 2px solid red; padding: 2px;"> <input type="radio"/> 全て許可しない </div>	<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> ① 「プリンター共有許可」にチェックを入れます。それ以外からチェックを外します。 </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> ② 「PrintScreenキー使用許可」の「全て許可しない」を選択します。 </div>
ビューア (手元端末) のIPアドレス制限	<div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">挿入</div> 全ての接続を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する	
クライアント (接続先機器) のIPアドレス制限	<div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">挿入</div> <input type="text" value="198.51.100.1"/> / <input type="text" value="255.255.255.255"/> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">削除</div> を <input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 禁止する <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">挿入</div> リストに適合しない接続を <input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 禁止する	
<div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">アプリケーションの詳細設定を更新</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">キャンセル</div>		<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> ③ [更新]を押します。 </div>

④ 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。

確認 ×

入力した内容を反映させます。
よろしいですか?

OK

キャンセル

3.13.3.1. 「Print Screen キー使用許可」の3つの設定における動作の違い

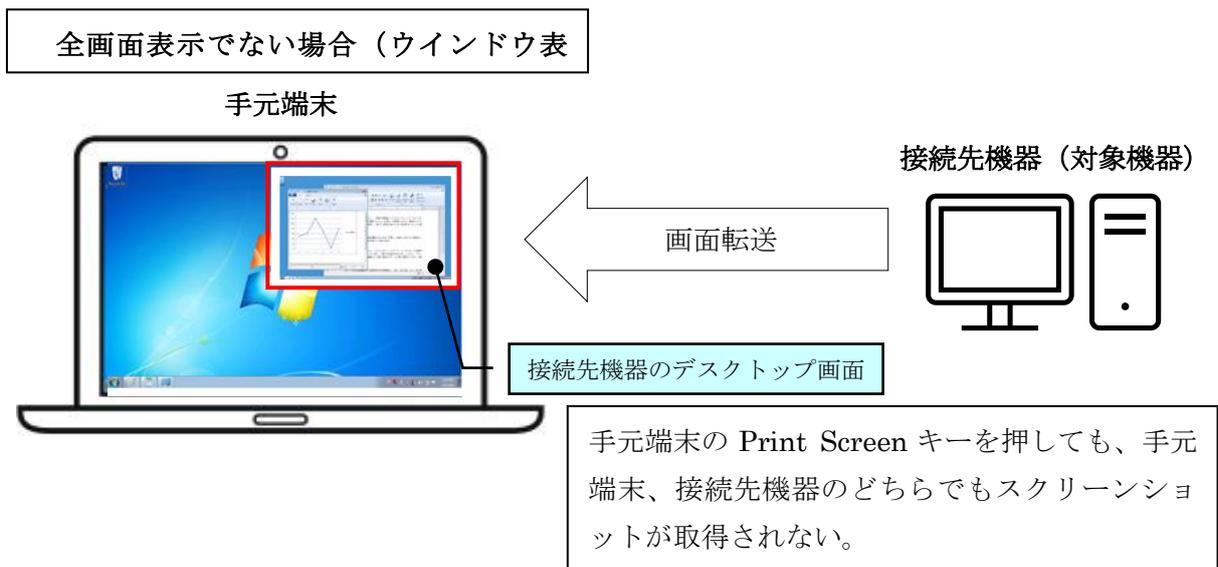
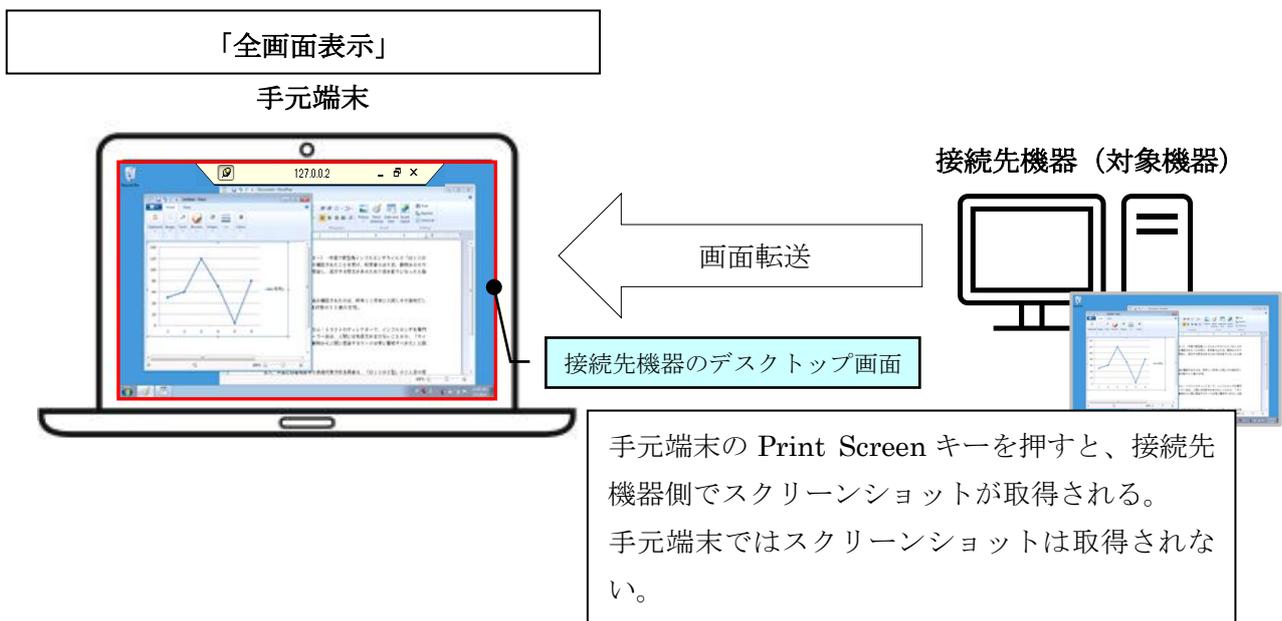
本項では、「Print Screen キー使用許可」の3つの設定における動作の違いを説明します。

■ 一部許可する

Print Screen キーによるスクリーンショット取得を制限します。

この設定の場合、Print Screen キーを押しても手元端末ではスクリーンショットが取得されません。

リモートデスクトップ画面が「全画面表示」の場合、**接続先機器（対象機器）側**で接続先機器のスクリーンショットが取得され、接続先機器（対象機器）内に閉じた範囲で画面データを利用できます。



■ 全て許可する

Print Screen キーによるスクリーンショット取得を制限しません。

この設定の場合、Print Screen キーを押すと Windows の標準機能によってスクリーンショットが取得されます。

■ 全て許可しない

この設定の場合、「一部許可する」と同様、Print Screen キーを押しても手元端末ではスクリーンショットが取得されません。

さらに、リモートデスクトップ画面を「全画面表示」にした場合の接続先機器（対象機器）側でのスクリーンショットも取得されません。

3.13.4. 高品質映像モードを強制的に有効/無効にする

手元端末が Windows PC で、「USB 型プレミアム」または「アプリ型プレミアム」の場合、高品質映像モードを利用し、動画など画面の動きが多いときの画面表示や操作性を向上させることができます。

(高品質映像モードに関する利用者向けの情報は [よくあるご質問](#) をご確認ください。)

初期状態では高品質映像モードは無効化されていて、利用者が設定を変更することにより有効化されます。

利用者の設定に依存せず、自動更新を強制的に有効化/無効化する手順をご案内します。

※高品質映像モードを利用するにはビューアアプリが Ver9.0 以降である必要があります。

※Mac、iPhone/iPad、Android 端末など、手元端末が Windows PC 以外の場合には利用できません。

※「USB 型プレミアム」及び「アプリ型プレミアム」以外の契約では利用できません。

(1) 設定を変更したいユーザを選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザー一覧を表示しています。
ユーザーの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 000000 検索

ユーザ名	タイプ	USBID	有効期限	ステータス	操作
user1	USB型	0000#00000			
user2	USB型	0000#00001	2022-01-01	-	-
user3	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user4	アプリ型	-	2022-01-01	-	-
user5	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user6	アプリ型ライト	-	2022-01-01	-	-
user7	対象機器専用	-	2022-01-01	-	○
user.mc3000	対象機器専用	-	2022-01-01	-	-

<< < 1 > >>

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

(2) 「アプリケーションの詳細設定」にある「リモートデスクトップ設定」を以下の手順で変更します。

<p>リモートデスクトップ設定 ※Windowsのビューアのみ有効</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> プリンター共有許可 <input type="checkbox"/> ドライブ共有許可 <input type="checkbox"/> クリップボード共有許可 <input type="checkbox"/> スマートカード共有許可 <input type="checkbox"/> シリアルポート共有許可 <input type="checkbox"/> プラグアンドプレイ(PnP)デバイス共有許可 <hr/> <p>PrintScreenキー使用許可</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 一部許可する リモートデスクトップが全画面表示の時に限り許可します。 撮った画面イメージはリモートデスクトップ画面内から取り出せません。 <input type="radio"/> 全て許可する <input type="radio"/> 全て許可しない <hr/> <p>高品質映像モード使用許可設定</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 強制的に有効にする <input type="radio"/> 強制的に無効にする </div> <p>※「強制的に有効にする / 無効にする」にした場合は、当該のユーザが高品質映像モードの使用設定を変更できなくなります。 ※ビューアアプリのバージョンが9.0r1以上で使用できます。</p>
--	--

① 「高品質映像モード使用許可設定」を選択肢から選びます。

(省略)

アプリケーションの詳細設定を更新

② [アプリケーションの詳細設定を更新]を押します。

③ 確認のメッセージが表示されますので、[OK]を押します。

確認 ×

入力した内容を反映させます。
よろしいですか?

- 「任意」の場合

利用者による設定に従います。

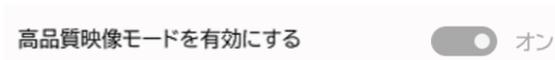
ビューアアプリの設定画面



- 「強制的に有効にする」場合

設定が強制的にオンになり、利用者は変更できません。

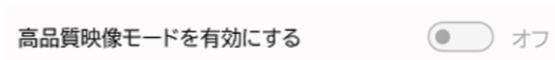
ビューアアプリの設定画面



- 「強制的に無効にする」場合

設定が強制的にオフになり、利用者は変更できません。

ビューアアプリの設定画面



3.14. 通信速度を制限する

リモートアクセス時の通信速度を制限することができます。ユーザの操作性とのトレードオフにより、会社ネットワークを流れるマジックコネクトの通信量を抑える効果があります。

解説や手順は Web ページ [「通信速度 \(通信量\) を制限する方法」](#) を参照してください。

3.15. 複数ユーザの設定をまとめて操作する

これまで説明したユーザ管理の手順は、それぞれのユーザに対し、1 ユーザずつ設定する「個別管理」ですが、本節で説明する「一括操作」の機能を用いると、複数ユーザに対する設定をまとめて行うことができます。

一括操作の機能を用いて以下の設定を一括操作することができます。

3.15. 複数ユーザの設定をまとめて操作する	74
3.15.1. 「一括操作」画面を表示する	75
3.15.2. 利用許可設定を一括で設定する	76
3.15.2.1. ビューア USB の利用許可を一括で設定する	77
3.15.2.2. ビューア デスクトップ (Windows、Mac) の利用許可を一括で設定する	78
3.15.2.3. ビューア モバイルの利用許可を一括で設定する	79
3.15.2.4. ビューア 利用可能な端末数制限を一括で設定する	80
3.15.2.5. クライアントの利用許可を一括で設定する	81
3.15.2.6. 管理機能の利用許可を一括で設定する	82
3.15.3. 端末認証情報を一括で初期化する	83
3.15.3.1. デスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報を一括で初期化する	84
3.15.3.2. モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報を一括で初期化する	85
3.15.4. アプリケーションの詳細設定を一括で設定する	86
3.15.4.1. Windows PC にインストールしたアプリケーションの自動更新を一括で設定する	87
3.15.4.2. Windows PC の手元端末からの生体認証/PIN によるログオンを許可/禁止する	89
3.15.4.3. モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) のパスワード保存設定を一括で更新する	91
3.15.4.4. リモートデスクトップ設定を一括で更新する	92
3.15.4.5. セキュリティチェックを一括で更新する	94
3.15.4.6. ビューア/クライアントの IP アドレス制限を一括で設定する	96
3.15.4.7. ビューア/クライアントの MAC アドレス制限を一括で設定する	98
3.15.4.8. ビューア/クライアントの IP アドレス制限を CSV ファイルによって一括で設定する	100
3.15.4.9. ビューア/クライアントの MAC アドレス制限を CSV ファイルによって一括で設定する	104
3.15.5. 通信速度制限を一括で設定する	108
3.15.6. ユーザのメモを詳細設定を一括で設定する	108

3.15.1. 「一括操作」画面を表示する

(1) ユーザ管理画面で[一括操作]ボタンを押します。

一般ユーザー一覧

通常サービス 契約ユーザー数 : 8
BCPあんしんサービス 契約ユーザー数 : 1

アカウント管理者test.accountsに所属するユーザー一覧を表示しています。
 ユーザの詳細を表示するにはユーザー名をクリックしてください。

一括操作

契約ID : 123456789 Q 検索

ユーザー名 ▲	タイプ	USBロット番号	サービス提供開始日	サービス解約日	BCP
account.a	USB型	dummysnumber1	2021-01-02	-	-
account.b	USB型	dummysnumber2	2021-01-02	-	-

(2) 「一括操作」画面に切り替わります。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定

パスワード保存設定を一括更新

ビューア デスクトップの利用許可を一括設定

リモートデスクトップ設定を一括更新

ビューア モバイルの利用許可を一括設定

セキュリティチェックを一括更新

ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定

IPアドレス制限ビューアを一括設定

クライアントの利用許可を一括設定

IPアドレス制限クライアントを一括設定

管理機能の利用許可を一括設定

MACアドレス制限ビューアを一括設定

端末認証情報 デスクトップを一括初期化

MACアドレス制限クライアントを一括設定

端末認証情報 モバイルを一括初期化

ユーザー情報一覧をダウンロード

アプリケーションの自動更新を一括設定

最終利用バージョンをダウンロード

生体認証/PINの設定を一括更新

最終ログイン情報一覧をダウンロード

IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定

IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定

MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定

MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定

クライアントの通信速度設定を一括更新

ユーザーのメモを一括更新

戻る

3.15.2. 利用許可設定を一括で設定する

複数のユーザに対して、以下のアプリケーションの許可/禁止を一括で変更したい場合に本機能を利用します。

- ビューア
 - USB
 - デスクトップ
 - モバイル(iPhone/iPad、Android 端末)
- クライアント
- 管理機能

3.15.2.1. ビューア USB の利用許可を一括で設定する

複数のユーザに対して USB の利用許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。ここでは、「全てのユーザに対して USB の利用を一括で許可する」を行う手順を説明します。

(1) 「ビューア USB の利用許可を一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

戻る

(2) 「USB の利用を許可する」にチェックを入れます。次に、[USB の利用許可を一括設定]ボタンを押します。

ビューア USBの利用許可を一括設定

全て選択 個別選択

USBの利用を許可する

USBの利用許可を一括設定 **戻る**

利用を禁止する場合は「USB の利用を許可する」からチェックを外します。

3.15.2.2. ビューア デスクトップ (Windows、Mac) の利用許可を一括で設定する

複数のユーザに対してデスクトップ (Windows、Mac) の利用許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

ここでは、「全てのユーザに対してデスクトップ (Windows、Mac) の利用を一括で許可する」を行う手順を説明します。

- (1) 「ビューア デスクトップの利用許可を一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

- (2) 「デスクトップの利用を許可する」にチェックを入れます。次に、[デスクトップの利用許可を一括設定]ボタンを押します。

ビューア デスクトップの利用許可を一括設定

全て選択 個別選択

デスクトップの利用を許可する

[デスクトップの利用許可を一括設定](#) [戻る](#)

利用を禁止する場合は「デスクトップの利用を許可する」からチェックを外します。

3.15.2.3. ビューア モバイルの利用許可を一括で設定する

複数のユーザに対してモバイル（iPhone/iPad、Android 端末）の利用許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

ここでは、「全てのユーザに対してモバイル（iPhone/iPad、Android 端末）の利用を一括で許可する」を行う手順を説明します。

- (1) 「ビューア モバイルの利用許可を一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

- (2) 「モバイルの利用を許可する」にチェックを入れます。次に、[モバイルの利用許可を一括設定]ボタンを押します。

ビューア モバイルの利用許可を一括設定

全て選択 個別選択

モバイルの利用を許可する

[モバイルの利用許可を一括設定](#) [戻る](#)

利用を禁止する場合は「モバイルの利用を許可する」からチェックを外します。

3.15.2.4. ビューア 利用可能な端末数制限を一括で設定する

ビューアアプリケーションをインストールして利用可能な手元端末の数を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

ここでは、「全てのユーザに対して利用可能な手元端末の数を 2 台に設定する」を行う手順を説明します。

(3) 「ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定」を選択します。



(4) 「2」を選択します。次に、[利用可能な端末数制限を一括設定]ボタンを押します。



契約（USB 型/USB 型プレミアム/アプリ型/アプリ型プレミアム/アプリ型ライト）別の最大数を超える数を指定した場合、最大数が自動的に設定されます。

※ 実際に利用するよりも多い台数を指定すると、ユーザ名とパスワードだけでビューアを利用可能な枠が生じます。第三者による悪用を防止するため、必要以上の台数を指定した状態を長期間放置しないでください。

3.15.2.5. クライアントの利用許可を一括で設定する

複数のユーザに対してクライアント（接続先機器で動かすプログラム）の利用許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

ここでは、「全てのユーザに対してクライアントの利用を一括で許可する」を行う手順を説明します。

(1) 「クライアントの利用許可を一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

(2) 「クライアントの利用を許可する」にチェックを入れます。次に、[クライアントの利用許可を一括設定]ボタンを押します。

クライアントの利用許可を一括設定

全て選択 個別選択

クライアントの利用を許可する

[クライアントの利用許可を一括設定](#) [戻る](#)

利用を禁止する場合は「クライアントの利用を許可する」からチェックを外します。

3.15.2.6. 管理機能の利用許可を一括で設定する

複数のユーザに対して管理機能の利用許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。ここでは、「全てのユーザに対して管理機能の利用を一括で許可する」を行う手順を説明します。

(1) 「管理機能の利用許可を一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

(2) 「管理機能の利用を許可する」にチェックを入れます。次に、[管理機能の利用許可を一括設定]ボタンを押します。

管理機能の利用許可を一括設定

全て選択 個別選択

管理機能の利用を許可する

管理機能の利用許可を一括設定
戻る

利用を禁止する場合は「管理機能の利用を許可する」からチェックを外します。

3.15.3. 端末認証情報を一括で初期化する

複数のユーザに対して、以下の端末認証情報を全て初期化したい場合に本機能を利用します。

- デスクトップ (Windows、Mac)
- モバイル (iPhone/iPad、Android 端末)

3.15.3.1. デスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報を一括で初期化する

複数のユーザに対して、デスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報を一括で初期化したい場合に本機能を利用します。以下では「user3」のデスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報を初期化する手順を説明します。

- (1) 「端末認証情報 デスクトップを一括初期化」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

- (2) 「個別選択」をクリックし、次に「user3」をクリックし選択状態にします。最後に、[端末認証情報を一括初期化]ボタンを押します。

端末認証情報 デスクトップを一括初期化

全て選択
 個別選択

検索:

user3

< 1 >

注意) 選択したユーザのデスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報が全て初期化されます。複数のデスクトップ (Windows、Mac) の端末認証情報を登録している場合はご注意ください。

3.15.3.2. モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報を一括で初期化する

複数のユーザに対して、モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報を一括で初期化したい場合に本機能を利用します。

以下では「user3」のモバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報を初期化する手順を説明します。

- (1) 「端末認証情報 モバイルを一括初期化」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定

- (2) 「個別選択」をクリックし、次に「user3」をクリックし選択状態にします。最後に、[端末認証情報を一括初期化]ボタンを押します。

端末認証情報 モバイルを一括初期化

全て選択
 個別選択

検索:

user3

< 1 >

注意) 選択したユーザのモバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報が全て初期化されます。

複数のモバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の端末認証情報を登録している場合はご注意ください。

3.15.4. アプリケーションの詳細設定を一括で設定する

複数のユーザに対して、以下の機能を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

- Windows PC にインストールしたアプリケーションの自動更新を一括で設定する
- Windows PC の手元端末からの生体認証/PIN によるログイン許可を一括で更新する
- モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) のパスワード保存設定を一括で更新する
- リモートデスクトップ設定を一括で更新する
- セキュリティチェックを一括で更新する
- ビューア/クライアントの IP アドレス制限を一括で設定する
- ビューア/クライアントの MAC アドレス制限を一括で設定する
- ビューア/クライアントの IP アドレス制限を CSV ファイルによって一括で設定する
- ビューア/クライアントの MAC アドレス制限を CSV ファイルによって一括で設定する

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューア、クライアントには適用されません。次回のマジックコネクトログイン時より適用されます。

3.15.4.1. Windows PC にインストールしたアプリケーションの自動更新を一括で設定する

Windows PC にインストールするビューアアプリとクライアントプログラムには、自動更新機能があります。

初期状態では自動更新機能は無効化されていて、利用者が設定を変更することにより有効化されます。本機能により、利用者の設定に依存せず、自動更新を強制的に有効化/無効化することができます。

※本機能は、ビューアアプリとクライアントプログラムが Ver9.0（2025年1月リリース）以降のみで有効です。Ver9.0 より過去のバージョンの場合には、アカウント管理者による強制はできず、ビューアアプリとクライアントプログラムの設定に従います。

※Mac、iPhone/iPad、Android 端末など、Windows PC 以外にインストールするビューアアプリの場合はアプリストアの動作に従います。

※USB キーから起動するビューアアプリには自動更新機能が無く、本機能の影響を受けません。

ここでは、「全てのユーザ」に対し自動更新を強制的に有効化する手順を説明します。

(1) 「アプリケーションの自動更新を一括設定」を選択します

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

(2) 「強制的に有効にする」を選択し[アプリケーションの自動更新を一括設定]ボタンを押します。

アプリケーションの自動更新を一括設定

全て選択 個別選択

アプリケーションの自動更新

任意

強制的に有効にする

強制的に無効にする

※「強制的に有効にする / 無効にする」にした場合は、当該のユーザがビューアアプリ、クライアントプログラムの設定を変更できなくなります。

※「強制的に有効にする / 無効にする」は、ビューアアプリやクライアントプログラムのバージョンが9.0r1以上の場合のみ適用されます。9.0r1より前にリリースされたバージョンの場合には、ビューアアプリやクライアントプログラムの自動更新設定に従います。

3.15.4.2. Windows PC の手元端末からの生体認証/PIN によるログオンを許可/禁止する

手元端末が Windows PC の場合、手元端末の生体認証/PIN を利用することで、ユーザ名やパスワードの入力無しにマジックコネクトのログインや接続先機器の Windows サインインが可能です。

初期状態では「禁止」のため、必要に応じて「許可」に設定してください。

※手元端末の生体認証/PIN を使ったログオン機能は、Ver9.0 以降のビューアアプリのみで利用できます。

- 「アプリ型ライト」では利用できません。
- USB キーから起動するビューアアプリでは利用できません。

手元端末の生体認証/PIN によるログオンは、マジックコネクトのユーザ名/パスワードや接続先機器の Windows のユーザ名/パスワードを手元端末に「安全に (※1)」保存することで実現しています。

※1. Windows の秘匿領域に保存され、Windows の生体認証/PIN により保護されます。

手元端末の生体認証/PIN を使ったログオン機能に関する利用者向けの情報は [よくあるご質問](#) をご確認ください。

ここでは、「全てのユーザ」に対し生体認証/PIN によるログオンを許可する手順を説明します。

(1) 「アプリケーションの自動更新を一括設定」を選択します

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

戻る

(2) 「ログオン時に生体認証/PIN の利用を許可する」を選択し[生体認証/PIN の設定を一括更新]ボタンを押します。

生体認証/PINの設定を一括更新

全て選択 個別選択

ログオン時に生体認証/PINの利用を許可する

許可する場合、マジックコネクトログインパスワードとWindowsログオンパスワードの保存も許可されます。(USBキーで接続する場合は生体認証/PINの利用とログオンパスワード保存ができません)

※ビューアアプリのバージョンが9.0r1以上で使用できます。

生体認証/PINの設定を一括更新
戻る

3.15.4.3. モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) のパスワード保存設定を一括で更新する

本機能により、モバイル (iPhone/iPad、Android 端末) の手元端末に対するパスワードの保存許可設定を一括で変更することができます

ここでは、「全てのユーザ」に対し下記の設定を行う手順を説明します。

- マジックコネクトのログインパスワードの保存を禁止
- Windows のログオンパスワードの保存を禁止

(3) 「パスワード保存設定を一括更新」を選択します

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

(4) 「マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する」「Windows ログオンパスワードの保存を許可する」からチェックを外し[パスワード保存設定を一括更新]ボタンを押します。

パスワード保存設定を一括更新

全て選択 個別選択

マジックコネクトログインパスワードの保存を許可する

Windowsログオンパスワードの保存を許可する

パスワード保存設定を一括更新
戻る

3.15.4.4. リモートデスクトップ設定を一括で更新する

複数のユーザに対してリモートデスクトップのデバイス共有許可/禁止を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューアには適用されません。

次回のマジックコネクトログイン時より適用されます。

ここでは「全てのユーザ」に対し、下記の設定を行う手順を説明します。

- プリンター共有を許可。その他の共有を禁止。
- Print Screen キーの使用を禁止

(1) 「リモートデスクトップ設定を一括更新」を選択します

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

- (2) 「プリンター共有許可」にチェックを入れ、その他の「共有許可」からチェックを外します。
Print Screen キー使用許可は「全て許可しない」を選択します。高品質映像モード使用許可設定は「強制的に有効にする」を選択します。最後に[リモートデスクトップ設定を一括更新]ボタンを押します。

リモートデスクトップ設定を一括更新

全て選択 個別選択

プリンター共有許可
 ドライブ共有許可
 クリップボード共有許可
 スマートカード共有許可
 シリアルポート共有許可
 プラグアンドプレイ(PnP)デバイス共有許可

PrintScreenキー使用許可

一部許可する
リモートデスクトップが全画面表示の時に限り許可します。
共有許可がオンになっているため、撮った画面イメージも共有されます。

全て許可する

全て許可しない

高品質映像モード使用許可設定

任意

強制的に有効にする

強制的に無効にする

※「強制的に有効にする / 無効にする」にした場合は、当該のユーザが高品質映像モードの使用設定を変更できなくなります。
高品質映像モードをご利用になれない契約タイプのユーザには、この設定は適用されません。
※ビューアアプリのバージョンが9.0r1以上で使用できます。

3.15.4.5. セキュリティチェックを一括で更新する

複数のユーザに対して、ビューアの Windows 端末の検疫状態が良好の場合にのみ、マジックコネクトを利用可能とする際に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューアには適用されません。

次のマジックコネクトログイン時より適用されます。

※本機能は Windows のビューアのみ有効です。

Mac のビューアを利用しているユーザには設定しないでください。

※本機能は「アプリ型ライト」では利用できません。

ここでは「全てのユーザ」に対し、下記の設定を行う手順を説明します。

- ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好の場合のみ、接続を許可する

(1) 「セキュリティチェックを一括更新」を選択します

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

- (2) 「ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好なときに、接続を許可する」にチェックを入れ、[セキュリティチェックを一括更新]ボタンを押します。

セキュリティチェックを一括更新

全て選択 個別選択

ウイルス対策ソフトの検疫状態が良好なときに、接続を許可する

3.15.4.6. ビューア/クライアントの IP アドレス制限を一括で設定する

複数のユーザに対して、ビューア/クライアントの IP アドレス制限を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューア/クライアントには適用されません。次のマジックコネクトログイン時より適用されます。

ここでは、「全てのユーザ」のビューアに対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

- 接続元アドレス 203.0.113.1 のネットワークからの接続を許可する。
- 上記 1 に該当しないネットワークからの接続を禁止する。

クライアントに対して設定する場合は、手順中「IP アドレス制限ビューアを一括設定」を「IP アドレス制限クライアントを一括設定」に読み替えてください。

(1) 「IP アドレス制限ビューアを一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

- (2) 「挿入」を押し、IP アドレス「203.0.113.1」、サブネットマスク「255.255.255.255」を入力し、許可します。リストに適合しない接続を「禁止する」を選択し、入力した IP アドレス以外からの接続を禁止します。最後に、[IP アドレス制限を一括設定]ボタンを押します。

IPアドレス制限 ビューアを一括設定

全て選択 個別選択

/

を 許可する 禁止する

リストに適合しない接続を 許可する 禁止する

3.15.4.7. ビューア/クライアントの MAC アドレス制限を一括で設定する

複数のユーザに対して、ビューア/クライアントの MAC アドレス制限を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューア/クライアントには適用されません。次回のマジックコネクトログイン時より適用されます。

※本機能は「アプリ型ライト」では利用できません。

ここでは、「全てのユーザ」のビューアに対し、下記の制限設定を行う手順を説明します。

- MAC アドレス AA-BB-CC-DD-EE-FF を持つ端末の接続を許可する。
- 上記 1 に該当しない端末からの接続を禁止する。

クライアントに対して設定する場合は、手順中「MAC アドレス制限ビューアを一括設定」を「MAC アドレス制限クライアントを一括設定」に読み替えてください。

(1) 「MAC アドレス制限ビューアを一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

- (2) 「挿入」を押し、MAC アドレス AA-BB-CC-DD-EE-FF」を入力し、許可します。リストに適合しない接続を「禁止する」を押し、入力した MAC アドレス以外からの接続を禁止します。最後に、[MAC アドレス制限を一括設定]ボタンを押します。

MACアドレス制限 ビューアを一括設定

全て選択 個別選択

AA-BB-CC-DD-EE-FF

を 許可する 禁止する

リストに適合しない接続を 許可する 禁止する

3.15.4.8. ビューア/クライアントの IP アドレス制限を CSV ファイルによって一括で設定する

CSV ファイルによって、複数のユーザそれぞれに独自の IP アドレス制限を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューア/クライアントには適用されません。次回のマジックコネクトログイン時より適用されます。

以下の手順ではビューアの IP アドレス制限を実施します。クライアントに対して実施する場合は、手順中「ビューア」を「クライアント」に読み替えてください。

(1) 「IP アドレス制限ビューアを CSV 一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

(2) 「IPアドレス制限 ビューアをCSV一括設定」画面が表示されます。

IPアドレス制限 ビューアをCSV一括設定

許可したいIPアドレスを記述したCSVファイルをアップロードし、それ以外のIPアドレスを制限します。

アップロードしたいCSVファイルを選択してください。

ファイル選択

IPアドレス制限を一括設定

戻る

! CSVファイルのフォーマットについて

CSV形式のファイルは、ユーザ名とIPアドレスの組み合わせで構成されます。

! ヘッダ行

1行目はヘッダ行です。ヘッダ行は次の通りです。

User, IP address

! CSV形式のIPアドレス制限

2行目以降にユーザ名と許可したいIPアドレスを記述します。行は「ユーザ名」「(カンマ)」「IPアドレス」という形式で記述します。
記述されているIPアドレス以外は接続できません。
※IPアドレスは1ユーザあたり200個まで指定できます。

ユーザ名	対象のユーザ名を記述します。
IPアドレス	「IPアドレス/サブネットマスク」の形式で記述します。 サブネットマスク部分は「ドット付き十進表記」または「プレフィックス長」のいずれかを指定できます。 複数のIPアドレスを指定する場合は「,(カンマ)」で区切ってください。

! 記述例

記述例は次の通りです。

```
User, IP address
user1,192.168.0.1/32,192.168.0.2/32
user2,192.168.1.1/32
```

! テンプレート用CSV

アップロード用のCSVファイルを作成する際は、以下のテンプレート用CSVのご利用をお勧めします。

[📄 テンプレート用CSVをダウンロード](#)

CSV ファイルのフォーマットが解説されています。フォーマットに従った CSV ファイルを作成してください。

テンプレート用 CSV ファイルをダウンロードし、そのファイルに記載することを推奨します。

※ 許容されるファイルフォーマットは UTF-8 です。ダウンロードしたテンプレート用 CSV ファイルは UTF-8 (BOM 有り) になっています。

CSV ファイルには、更新したいユーザのみを記載します。記載されていないユーザの情報は更新されません。

- (3) 「ファイル選択」を選択し、作成した CSV ファイルをファイル選択ダイアログで選びます。有効化された「IP アドレス制限を一括設定」ボタンを選択します。

IPアドレス制限 ビューアをCSV一括設定

許可したいIPアドレスを記述したCSVファイルをアップロードし、それ以外のIPアドレスを制限します。

アップロードしたいCSVファイルを選択してください。

C:\fakepath\ip_addresses. ファイル選択

IPアドレス制限を一括設定 戻る

- (4) 確認画面が表示されるので「OK」を選択します。

確認 ×

指定したユーザのIPアドレス制限を設定しますか?

OK キャンセル

(5) 結果が表示されます。

以下のIPアドレス制限 ビューアを一括更新しました。

ユーザ	説明	結果
account.a	192.168.0.1/32, 192.168.0.2/32	成功
account.f	192.168.0.33/32	成功

3.15.4.9. ビューア/クライアントの MAC アドレス制限を CSV ファイルによって一括で設定する

CSV ファイルによって、複数のユーザそれぞれに独自の MAC アドレス制限を一括で設定したい場合に本機能を利用します。

なお、変更した設定は、設定変更時に使用中のビューア/クライアントには適用されません。次回のマジックコネクトログイン時より適用されます。

以下の手順ではビューアの MAC アドレス制限を実施します。クライアントに対して実施する場合は、手順中「ビューア」を「クライアント」に読み替えてください。

(1) 「MACアドレス制限ビューアを CSV 一括設定」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

(2) 「MACアドレス制限 ビューアをCSV一括設定」画面が表示されます。

MACアドレス制限 ビューアをCSV一括設定

許可したいMACアドレスを記述したCSVファイルをアップロードし、それ以外のMACアドレスを制限します。

アップロードしたいCSVファイルを選択してください。

ファイル選択

MACアドレス制限を一括設定
戻る

! CSVファイルのフォーマットについて

CSV形式のファイルは、ユーザ名とMACアドレスの組み合わせで構成されます。

! ヘッダ行

1行目はヘッダ行です。ヘッダ行は次の通りです。

User,MAC address

! CSV形式のMACアドレス制限

2行目以降にユーザ名と許可したいMACアドレスを記述します。行は「ユーザ名」「, (カンマ)」「MACアドレス」という形式で記述します。

記述されているMACアドレス以外は接続できません。

※MACアドレスは1ユーザあたり200個まで指定できます。

ユーザ名	対象のユーザ名を記述します。
MACアドレス	MACアドレスを記述します。 MACアドレスは「コロン区切り」または「ハイフン区切り」のいずれかを指定できます。 複数のMACアドレスを指定する場合は「, (カンマ)」で区切ってください。

! 記述例

記述例は次の通りです。

User, MAC address
user1,AA-BB-CC-DD-EE-00,AA-BB-CC-DD-EE-01
user2,FF-EE-DD-CC-BB-00

! テンプレート用CSV

アップロード用のCSVファイルを作成する際は、以下のテンプレート用CSVのご利用をお勧めします。

[📄 テンプレート用CSVをダウンロード](#)

CSV ファイルのフォーマットが解説されています。フォーマットに従った CSV ファイルを作成してください。

テンプレート用 CSV ファイルをダウンロードし、そのファイルに記載することを推奨します。

※ 許容されるファイルフォーマットは UTF-8 です。ダウンロードしたテンプレート用 CSV ファイルは UTF-8 (BOM 有り) になっています。

CSV ファイルには、更新したいユーザのみを記載します。記載されていないユーザの情報は更新されません。

- (3) 「ファイル選択」を選択し、作成した CSV ファイルをファイル選択ダイアログで選びます。有効化された「IP アドレス制限を一括設定」ボタンを選択します。



- (4) 確認画面が表示されるので「OK」を選択します。



(5) 更新結果が表示されます。

以下のMACアドレス制限 ビューアを一括更新しました。

ユーザ	説明	結果
account.a	AA-BB-CC-DD-EE-00, AA-BB-CC-DD-EE-01	成功
account.c	FF-EE-DD-CC-BB-00	成功

3.15.5. 通信速度制限を一括で設定する

複数のユーザの通信速度制限を一括で設定することができます。

解説や手順は Web ページ [「通信速度（通信量）を制限する方法」](#) を参照してください。

3.15.6. ユーザのメモを詳細設定を一括で設定する

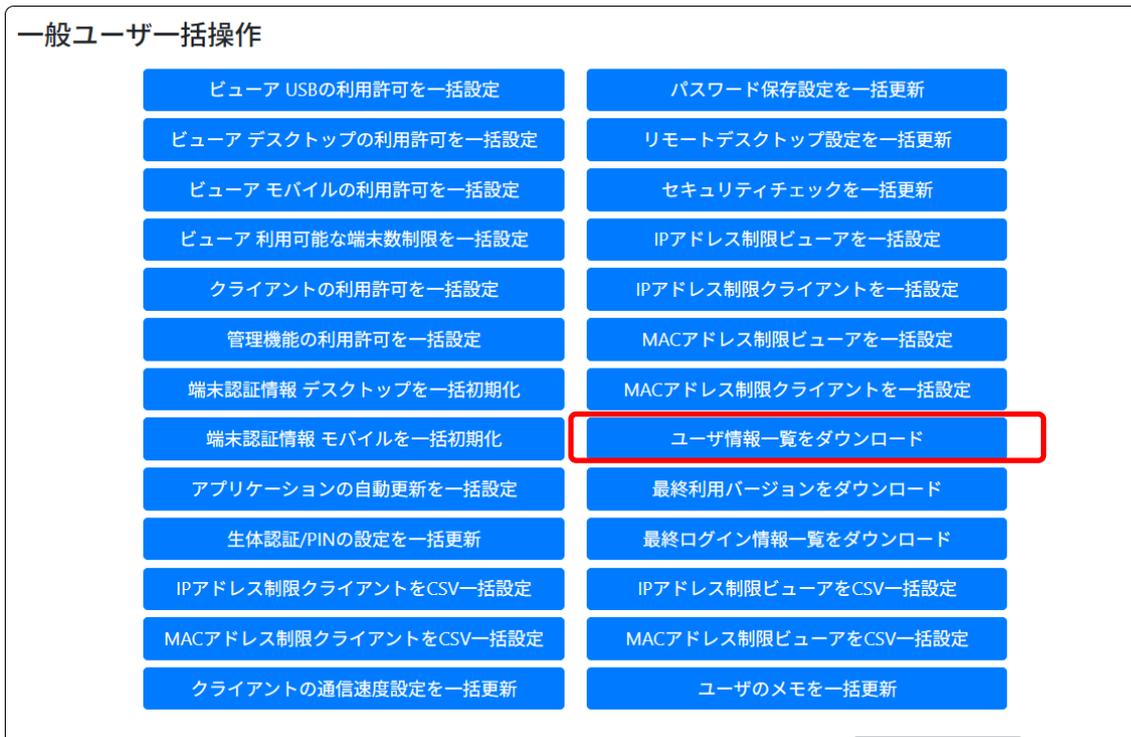
CSV ファイルを利用して、複数のユーザに対してメモを一括で設定したい場合に本機能を利用します。

解説や手順は Web ページ [「ユーザ情報にメモを登録してユーザ管理を楽にする」](#) を参照してください。

3.16. ユーザの契約情報を確認する

ユーザの契約情報が記載されたユーザ情報一覧をダウンロードできます。

(1) 「ユーザ情報一覧をダウンロード」を選択します。



(2) 画面に表示されたリンクをクリックします。

※5万ユーザ以上存在する場合は、リンクが複数に分割されます。



■ 「ユーザ情報一覧」 CSV ファイル (user_list.csv) の例

User	Type	USB Lot Number	Service Start Date	Service End Date	BCP	MFA	Password Change Date
user1	USB型プレミアム	0000#00000	2022-01-01		-	-	2023-01-15 12:00:12
user2	USB型プレミアム	0000#00001	2022-01-01		-	○	2023-01-15 16:22:21
user3	USB型	0000#00002			-	○	2023-01-05 10:19:02
user4	USB型	0000#00003				-	-
user5	アプリ型プレミアム		2022-01-01		-	-	-
user6	アプリ型プレミアム		2022-01-01		-	-	-
user7	アプリ型				-	-	-
user8	アプリ型				○	-	2023-01-05 10:10:12
user9	アプリ型ライト		2022-01-01		○	-	2023-01-05 10:02:43
user10	アプリ型ライト		2022-01-01	2023-01-01	-	-	-
user11	対象機器専用		2022-01-01	2023-01-01	-	-	-
user.mc3000	対象機器専用		2022-01-01		-	-	-

■ 項目と表示内容を説明します。

列	CSVの項目名	説明
1	User	ユーザ名。
2	Type	契約のタイプ。
3	USB Lot Number	USB キーのロット番号。 USB 型/USB 型プレミアム以外の契約では空欄。
4	Service Start Date	サービス提供開始日。 ※1
5	Service End Date	サービス解約日。 ※1 解約予定がない場合は空欄。
6	BCP	BCP 安心サポートの加入状況。 加入していない場合は「-」。
7	MFA	管理機能へのログインに多要素認証を利用しているか。 利用している場合は「○」、利用していない場合は「-」
8	Password Change Date	仮パスワードからの変更日時。仮パスワードのままの場合は「-」。 ※2 ※3

※1 日付のフォーマットは「西暦年-月-日」(例: 2014-09-17) です。

ただし、エクセルで開いた場合、表示上のフォーマットはエクセルの設定に従いますのでご注意ください。(例: 2014/9/17)

※2 日時のフォーマットは「西暦年-月-日 時:分:秒」(例: 2014-09-17 12:34:56) です。

ただし、エクセルで開いた場合、表示上のフォーマットはエクセルの設定に従いますのでご注意ください。(例: 2014/9/17 12:34)

※3 2024年5月22日より前に開通したアカウントは、自動的に2024年5月21日夜の日時が記録されます。

マジックコネク ト (従来モデル) からマジックコネク ト・ネオへ移行したアカウントは移行作業日時が記録されます。

どちらの場合も、アカウント管理者が管理機能を使って任意の仮パスワードへ強制変更した場合は、ユーザがパスワードを変更するまで「-」が記録されます。

3.17. ユーザが利用しているビューアとクライアントの種別とバージョンを確認する

ビューアとクライアントの種別とバージョンが記載されたユーザ情報一覧をダウンロードできます。

(1) 「最終利用バージョンをダウンロード」を選択します。

一般ユーザー一括操作

ビューア USBの利用許可を一括設定	パスワード保存設定を一括更新
ビューア デスクトップの利用許可を一括設定	リモートデスクトップ設定を一括更新
ビューア モバイルの利用許可を一括設定	セキュリティチェックを一括更新
ビューア 利用可能な端末数制限を一括設定	IPアドレス制限ビューアを一括設定
クライアントの利用許可を一括設定	IPアドレス制限クライアントを一括設定
管理機能の利用許可を一括設定	MACアドレス制限ビューアを一括設定
端末認証情報 デスクトップを一括初期化	MACアドレス制限クライアントを一括設定
端末認証情報 モバイルを一括初期化	ユーザ情報一覧をダウンロード
アプリケーションの自動更新を一括設定	最終利用バージョンをダウンロード
生体認証/PINの設定を一括更新	最終ログイン情報一覧をダウンロード
IPアドレス制限クライアントをCSV一括設定	IPアドレス制限ビューアをCSV一括設定
MACアドレス制限クライアントをCSV一括設定	MACアドレス制限ビューアをCSV一括設定
クライアントの通信速度設定を一括更新	ユーザのメモを一括更新

[戻る](#)

(2) 画面に表示されたリンクをクリックします。

※5万ユーザ以上存在する場合は、リンクが複数に分割されます。

最終利用バージョン一覧をダウンロード

- [last_version_1.csv : 1~50000件](#)

[戻る](#)

■ 「最終利用バージョン一覧」 CSV ファイル (last_version.csv) の例

Account	Client Type	App Type	Last Login Version	Last Login Date	Device Name	Device OS	Device Registered Date
user1	mc-agent	desktop	8.0r2	2022-03-03T02:21:12.823+09:00-	-	-	-
user2	mc-viewer	desktop	8.0r1	2022-03-02T15:42:07.219758+09:00	20000000-0	Windows	2022-03-02T15:42:05.897021+09:00
user2	mc-agent	desktop	-	-	-	-	-

■ 項目と表示内容を説明します。

列	CSV の項目名	説明
1	Account	ユーザ名。
2	Client Type	アプリケーションの種別。 「mc-viewer」：手元端末のビューアアプリ。 「mc-agent」：接続先機器のクライアントプログラム。
3	App Type	プログラムの種別。 「usb」：USB キーから起動するアプリ。 「desktop」：Windows、Mac にインストールするアプリ/プログラム。 「mobile」：iPhone/iPad、Android 端末にインストールするアプリ。
4	Last Login Version	マジックコネクトサーバへのログインに最後に成功したプログラムのバージョン。未接続の場合は「-」。
5	Last Login Date	マジックコネクトサーバへのログインに最後に成功した日時。未接続の場合は「-」。
6	Device Name	手元端末の名称。 USB キーから起動するビューアアプリの場合は USB キーのロット番号。 接続先機器 (mc-agent) の場合は「-」。
7	Device OS	手元端末の OS 種別。 「Windows」「iOS」「Android」の 3 種類。 USB キーから起動するビューアアプリの場合や 接続先機器 (mc-agent) の場合は「-」。
8	Device Registered Date	手元端末の端末認証情報を登録した日時。 未接続の場合、USB キーから起動するビューアアプリの場合、そして 接続先機器 (mc-agent) の場合は「-」。

※USB キーから起動するビューアアプリと接続先機器のクライアントプログラムは、未接続の場合も含め各ユーザにつきそれぞれ 1 行存在します。

※手元端末にインストールするビューアアプリは、端末認証情報が登録された手元端末の数だけ行が存在します。ユーザが 1 台も登録していない場合はそのユーザについての行が存在しません。

3.18. ユーザが最後に利用した際の情報を一覧で確認する

ユーザが最後に手元端末から利用した際の情報をダウンロードできます。

新規利用者の利用開始状況を確認する際や、従来モデルからマジックコネクト・ネオへ移行した際の移行状況を確認する際にご活用ください。

詳しい解説や手順を Web ページでご案内しています。

➤ [「利用者の利用開始状況を一覧で確認する方法」](#)

4. グループ化接続構成

本機能を利用することで、異なるユーザのビューア・クライアント間で通信するための接続構成を参照・編集できます。

接続構成を編集した場合、即時に通信へ反映されます。

4.1. 接続構成例の説明	116
4.1.1. 標準接続、グループ化接続とは	116
4.2. 接続構成を参照する	117
4.2.1. 各ビューアが接続できるクライアントの一覧を表示する	117
4.2.2. 各クライアントへ接続できるビューアの一覧を表示する	119
4.3. 接続構成を編集する	121
4.3.1. 複数の接続先機器へ接続できるようにする (1 対 N 接続)	121
4.3.2. Windows サーバへ複数のユーザが接続できるようにする (N 対 1 接続)	126
4.3.3. WOL コントローラ「MC3000」を利用する接続構成とする (N 対 M 接続)	132
4.3.4. グループ化接続を削除する	138
4.4. グループ化接続の作業を CSV 形式のファイルで行う	142
4.4.1. グループ化接続構成を CSV 形式でダウンロードする	145
4.4.2. グループ化接続構成を CSV 形式で一括追加する	146
4.4.3. グループ化接続構成を CSV 形式で一括削除する	148

グループ化接続構成画面を表示するには、トップ画面から「グループ化接続構成」をクリックします。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
	アクセス履歴 過去1年のアクセス履歴を表示することができます。		ユーザ管理 アカウントごとにユーザー情報を管理することができます。		
	グループ化接続構成 現在の接続構成を表示・編集することができます。		管理機能利用設定 管理機能利用についての各種設定を管理することができます。		
	パスワード変更 登録されているパスワードを変更することができます。				

4.1. 接続構成例の説明

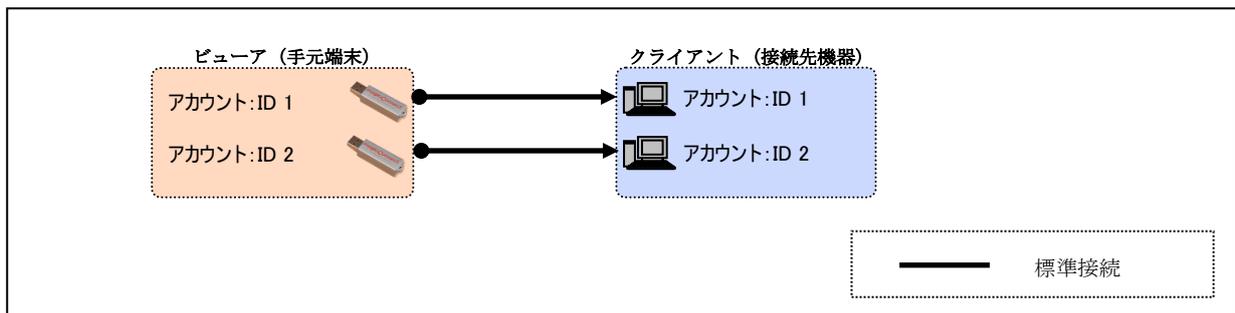
4.1.1. 標準接続、グループ化接続とは

マジックコネクトでは、多様な接続構成を簡単に実現できるようにするため、2つのタイプの接続を用意しています。

■「標準接続」

ビューアおよびクライアントに、同じユーザ名を設定するだけで、ビューア・クライアント間の通信が可能になります。下図において、黒の実線で示されている接続です。

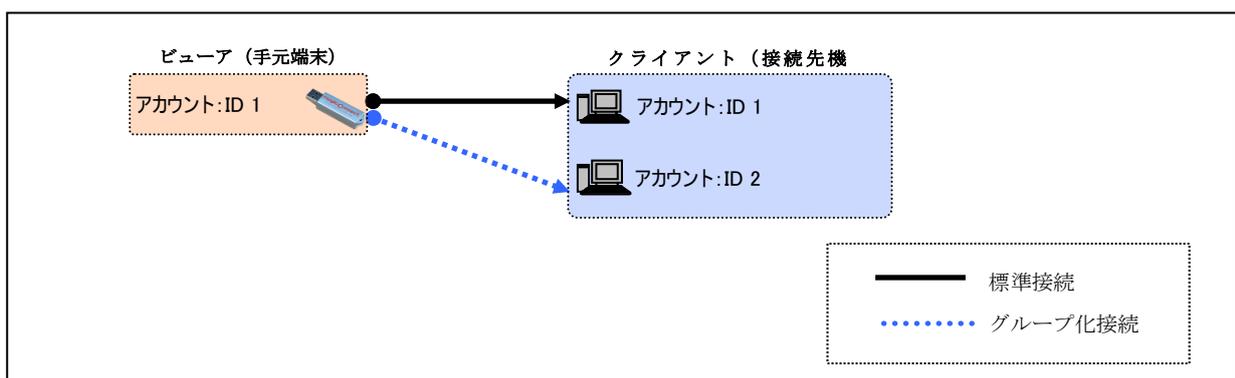
初期状態から可能です。



■「グループ化接続」

異なるユーザ名が設定されたビューア・クライアント間を通信可能にします。下図において、青の破線で示されている接続です。

グループ化の機能を用い、ビューア・クライアント間の接続構成を登録することにより実現されます。



4.2. 接続構成を参照する

4.2.1. 各ビューアが接続できるクライアントの一覧を表示する

- 一覧からビューアが接続できるクライアントを確認する

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

[CSV一括操作](#)

[検索](#)

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1	user.mc3000	
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		user1

[<<](#)
[<](#)
1
[>](#)
[>>](#)

ビューアが接続できるクライアントを確認できます。

■ 接続構成画面からビューアが接続できるクライアントを確認する

(1) ユーザー一覧から接続構成を参照したいユーザ名を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1		
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		

<< < 1 > >>

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

(2) 「ビューアが接続できるクライアント」を確認します。

「標準接続」は、黒の実線で示され、「グループ化接続」は、青の実線で示されます。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を

ユーザ名やメモで絞り込みが可能です。

ビューアが接続できるクライアント

ビューア

クライアント

user1

user.mc3000

接続先クライアントを追加

クライアントに接続できるビューア

ビューア

クライアント

user1

接続元ビューアを追加

ユーザ接続構成一覧に戻る

4.2.2. 各クライアントへ接続できるビューアの一覧を表示する

- 一覧からクライアントへ接続できるビューアを確認する。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

[CSV一括操作](#)

[検索](#)

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1		
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.m...		

クライアントへ接続できるビューアを確認できます。

<< < 1 > >>

■ 接続構成画面からクライアントへ接続できるビューア一覧を表示する

(1) ユーザー一覧から接続構成を参照したいユーザ名を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1	user.mc3000	ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		user1

<< < 1 > >>

(2) 「クライアントに接続できるビューア」を確認します。

「標準接続」は、黒の実線で示され、「グループ化接続」は、青の実線で示されます。

一般ユーザuser.mc3000のグループ化接続構成を表示しています。

クライアントに接続できるビューア

接続元ビューアを追加

ユーザ接続構成一覧に戻る

ユーザ名やメモで絞り込みが可能です。

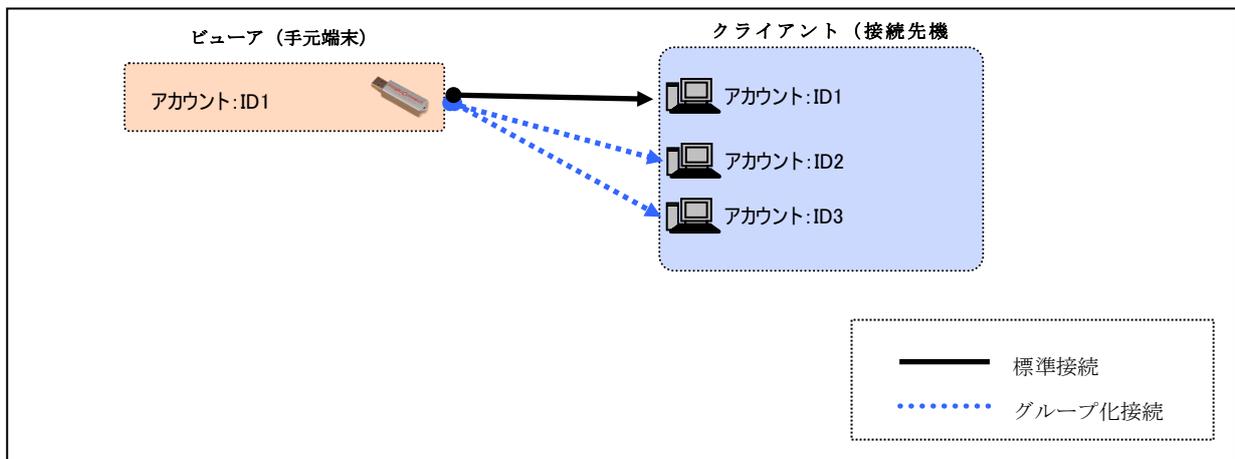
4.3. 接続構成を編集する

4.3.1. 複数の接続先機器へ接続できるようにする（1対N接続）

ここでは、異なるユーザ名が設定された複数台の PC やサーバへ接続できるようにする手順を説明します。

下図に示す、アカウント：ID1(user1)～ID3(user3)の3アカウントが契約され、グループ化接続はされていないとします。

この状態から、ビューア「user1」がクライアント「user2～user3」へ接続するためのグループ化の手順を説明します。



(1) ビューア「user1」の接続先として指定できるクライアントを全て表示するため、「user1」を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1	user.mc3000	
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		user1

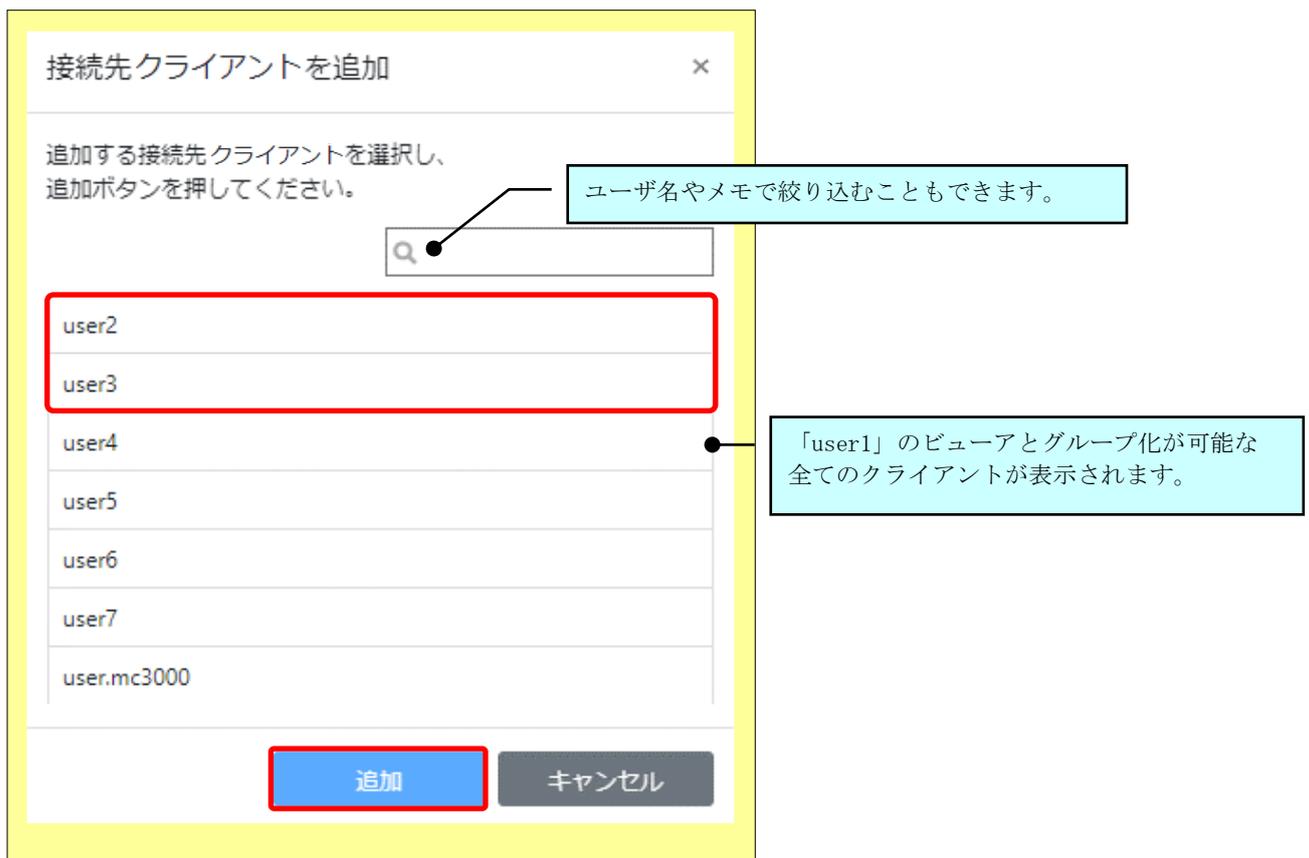
<< < 1 > >>

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

- (2) 「user1」の「ビューアの接続先が接続できるクライアント」の[接続先クライアントを追加]ボタンを押します。



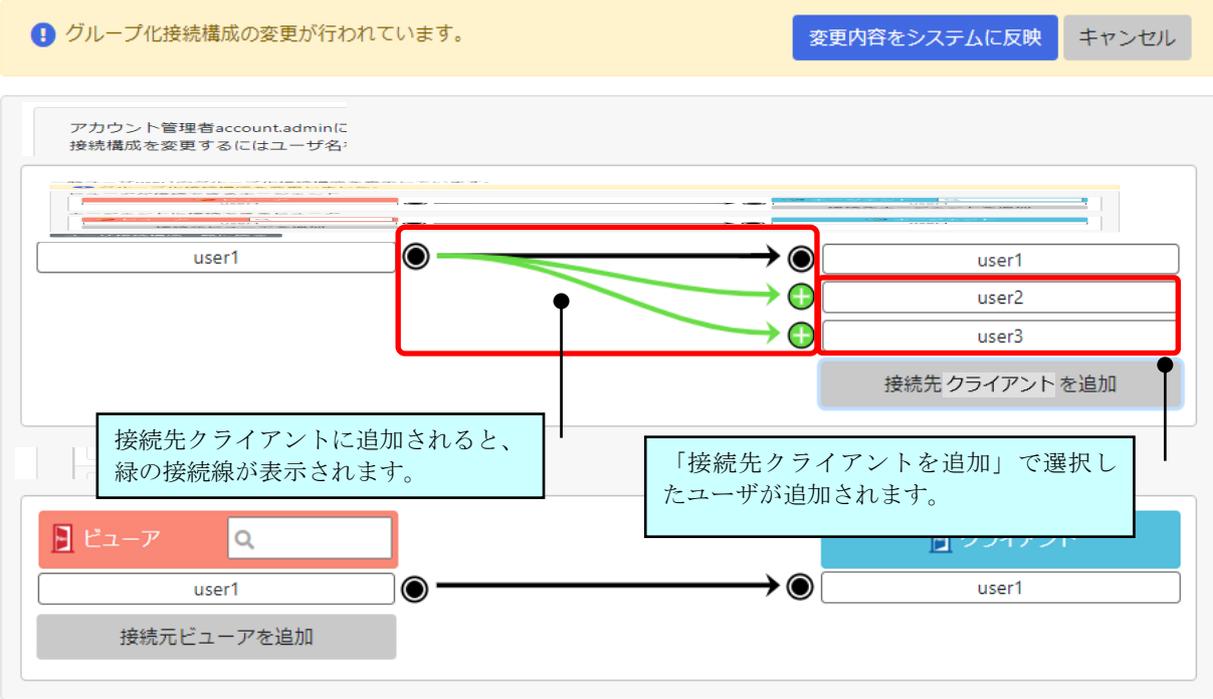
- (1) ビューア「user1」の接続先として指定できる全てのクライアントが表示されます。「user2～user3」を選択します。



- (2) 「接続先クライアントを追加」で追加した「user2～user3」が接続先クライアントの一覧に追加されます。端子マークが 、「緑」の接続線が表示されます。また、画面上部に「グループ化接続構成の変更が行われています。」のメッセージが表示されます。

注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。



グループ化接続構成の変更が行われています。 変更内容をシステムに反映 キャンセル

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名:

user1

user1
user2
user3

接続先クライアントを追加

接続先クライアントに追加されると、
緑の接続線が表示されます。

「接続先クライアントを追加」で選択し
たユーザが追加されます。

ピューア

user1

接続元ビューアを追加

user1

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (5) ビューア「user1」からクライアント「user2～user3」へ接続可能となった構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。

端子マークが「 → 」に変化して、「水色」の接続線と「グループ化接続構成を変更しました。」のメッセージが表示されます。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成を変更しました。

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名*

ビューア

user1

クライアント

user1

user2

user3

接続先 クライアントを追加

更新に成功すると青の接続線が表示されます。

ビューア

user1

接続元ビューアを追加

クライアント

user1

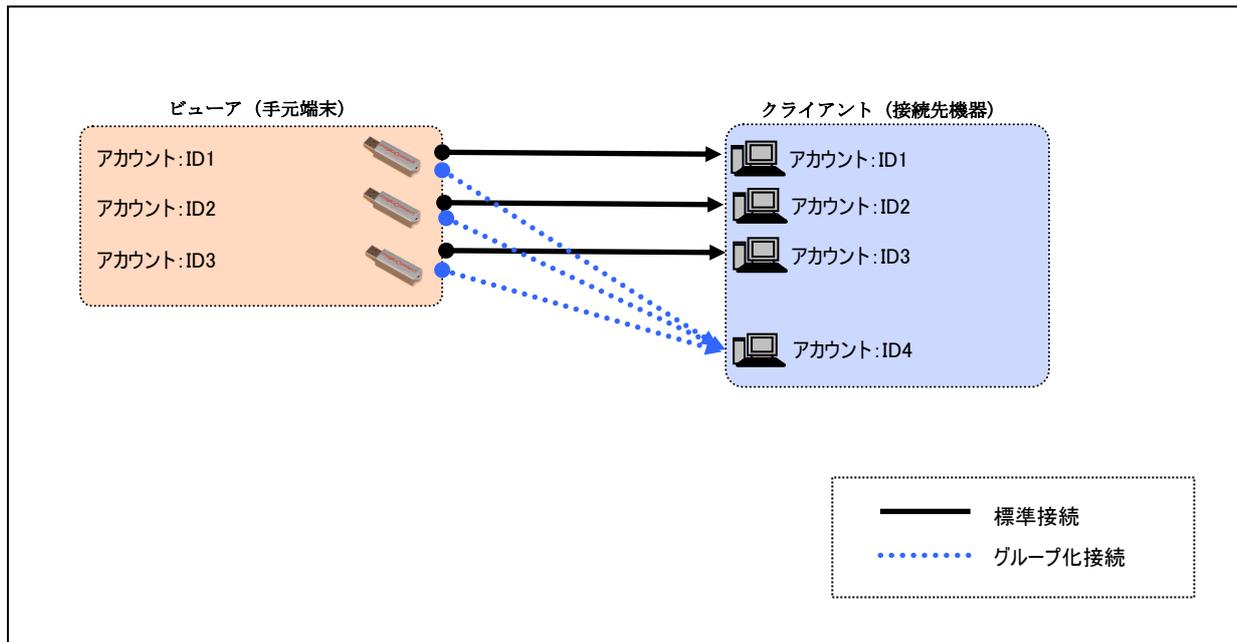
[ユーザ接続構成一覧に戻る](#)

4.3.2. Windows サーバへ複数のユーザが接続できるようにする (N対1接続)

ここでは、1台のWindowsサーバへ、複数のユーザが接続できるようにする手順を説明します。

下図に示す、アカウント：ID1 (user1) ~ID4(user4)の4アカウントが契約され、グループ化接続はされていないとします。

この状態から、ビューア「user1~user3」がクライアント「user4」へ接続するためのグループ化の手順を説明します。



- (1) クライアント「user4」を基点とした表示にするため、「user4」を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1	user2 user3	
user2		
user3		user1
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

<< < 1 > >>

- (2) 「クライアントに接続できるビューア」の[接続元ビューアを追加]ボタンを押します。

一般ユーザuser4のグループ化接続構成を表示しています。

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名

ビューア

クライアント

user4

接続先クライアントを追加

ビューア

クライアント

user4

接続元ビューアを追加

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (3) クライアント「user4」を接続先として指定できる全てのビューアが表示されます。
「user1～user3」を選択します。

接続元ビューアを追加

追加する接続元ビューアを選択し、追加ボタンを押してください。

ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

user1

user2

user3

user5

user6

追加

キャンセル

クライアント「user4」とグループ化が可能な全てのビューアが表示されます。

- (4) 「接続元ビューアを追加」で選択した「user1～user3」が接続元ビューアのリストに追加されます。

端子マークが「」、「緑」の接続線が表示されます。また、画面上部に「グループ化接続構成の変更が行われています。」のメッセージが表示されます。

注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。

一般ユーザuser4のグループ化接続構成を表示しています。

 グループ化接続構成の変更が行われています。 変更内容をシステムに反映 キャンセル

アカウント管理者account.adminに接続構成を変更するにはユーザ名:

ビューア

user4

クライアント

user4

接続先クライアントを追加

ビューア

user4

user1

user2

user3

接続元ビューアを追加

クライアント

user4

「接続元ビューアを追加」で選択したユーザが追加されます。

接続元ビューアに追加されると、緑の接続線が表示されます。

- (5) 変更した内容をマジックコネクトサーバに反映するため、[変更内容をシステムに反映]ボタンを押します。

一般ユーザuser4のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成の変更が行われています。 変更内容をシステムに反映 キャンセル

アカウント管理者account.adminに接続構成を変更するにはユーザ名:

ビューア

user4

クライアント

user4

接続先クライアントを追加

→

ビューア

user4

user1

user2

user3

接続元ビューアを追加

クライアント

user4

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (6) 確認メッセージが表示されますので、[OK]を選択します

確認 ×

変更内容をシステムに適用します。
よろしいですか？

OK

キャンセル

(7) ビューア「user1～user3」からクライアント「user4」へ接続可能となった構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。

端子マークが「 → 」に変化して、「青」の接続線が表示されます。また、画面上部に「グループ化接続構成を変更しました。」のメッセージが表示されます。

一般ユーザuser4のグループ化接続構成を表示しています。

!
グループ化接続構成を変更しました。

アカウント管理者account.adminに接続構成を変更するにはユーザ名:

ビューア

user4	●
-------	---

クライアント

user4	●
-------	---

接続先 クライアントを追加

→

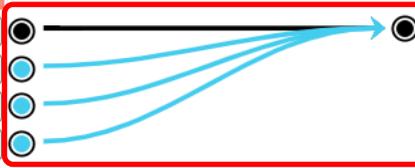
ビューア

user4	●
user1	●
user2	●
user3	●

接続元ビューアを追加

クライアント

user4	●
-------	---



更新に成功すると青の接続線が表示されます。

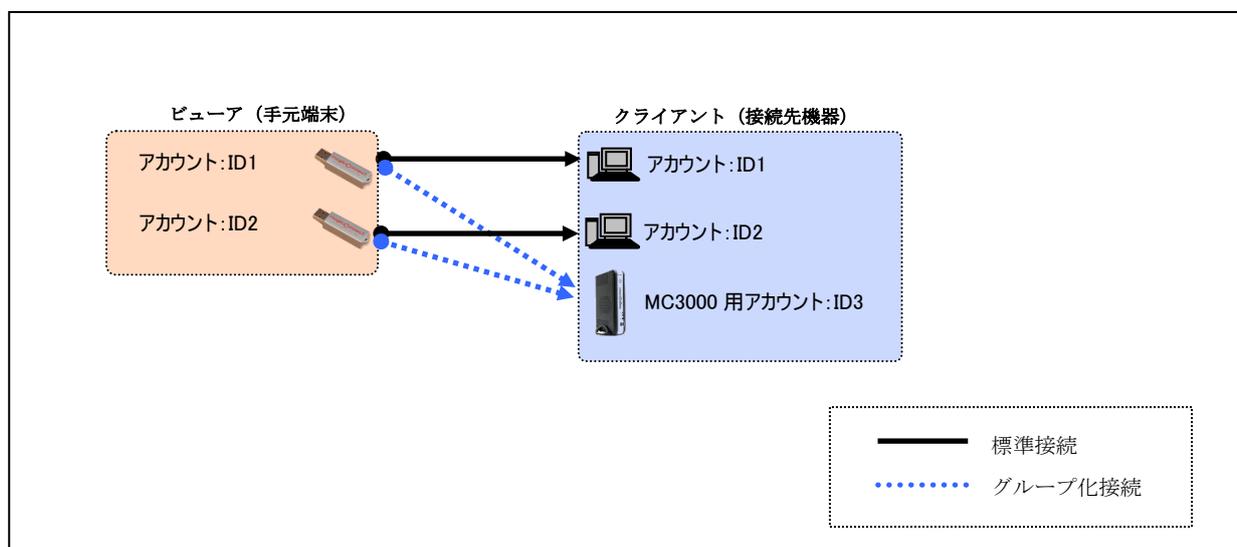
ユーザ接続構成一覧に戻る

4.3.3. WOL コントローラ「MC3000」を利用する接続構成とする (N 対 M 接続)

ここでは、電源オフ状態のオフィス PC を、WOL コントローラ「MC3000」でリモートから起動して、接続できるようにする手順を説明します。

下図に示す、アカウント : ID1 (user1) ~ ID2 (user2) と、MC3000 用アカウント : ID3 (user.mc3000) の計 3 アカウントが契約され、グループ化接続はされていないとします。

この状態から、「MC3000」を利用できるようにするため、MC3000 用アカウント「user.mc3000」へビューア「user1~user2」から接続するためのグループ化の手順を説明します。



- (1) クライアント「user.mc3000」を基点とした表示にするため、「user.mc3000」を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1	user2 user3	
user2		user1
user3		user1
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		

ユーザー名やメモで絞り込むこともできます。

<< < 1 > >>

- (2) 「クライアントに接続できるビューア」の[接続元ビューアを追加]ボタンを押します。

一般ユーザuser.mc3000のグループ化接続構成を表示しています。

検索

ビューア

クライアント

● user.mc3000

接続元ビューアを追加

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (3) クライアント「user.mc3000」を接続先として指定できる全てのビューアが表示されます。
「user1～user2」を選択します。

接続元ビューアを追加

追加する接続元ビューアを選択し、追加ボタンを押してください。

検索

- user1
- user2
- user3
- user5
- user6

追加 キャンセル

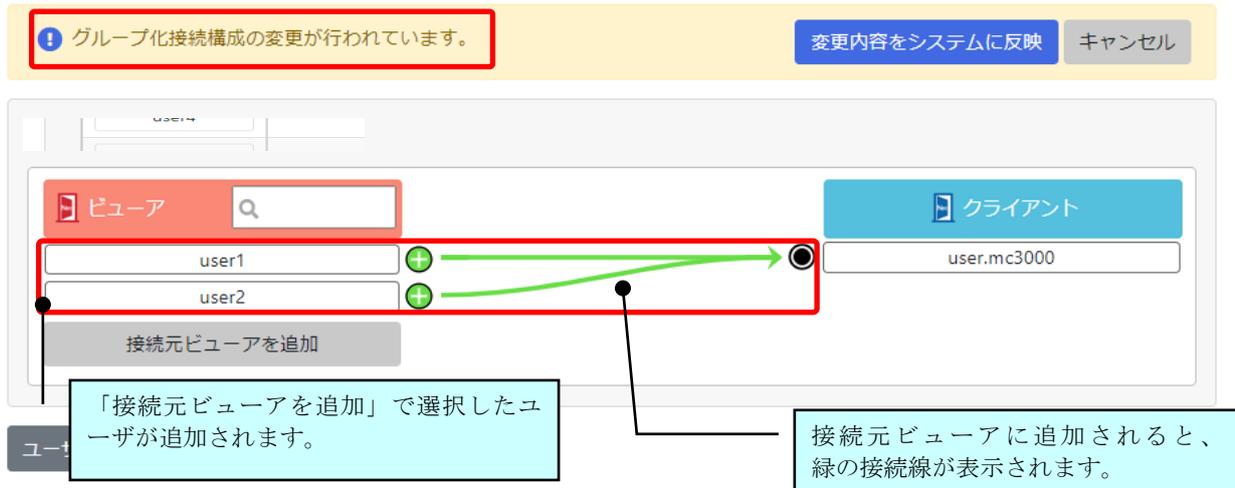
ユーザ名やメモで絞り込むこともできます。

「user.mc3000」のクライアントとグループ化が可能な全てのビューアが表示されます。

- (4) 「user1～user2」の横に表記されている端子マークをクリックします。
端子マークが「**+**」に変化して、「緑」の接続線で表示されます。また、画面上部に「グループ化接続構成の変更が行われています。」のメッセージが表示されます。

注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。

一般ユーザuser.mc3000のグループ化接続構成を表示しています。



- (5) 変更した内容をマジックコネクトサーバに反映するため、[変更内容をシステムに反映]ボタンを押します。

一般ユーザuser.mc3000のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成の変更が行われています。

変更内容をシステムに反映 キャンセル

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (6) 確認メッセージが表示されますので、[OK]を選択します。

確認

変更内容をシステムに適用します。
よろしいですか?

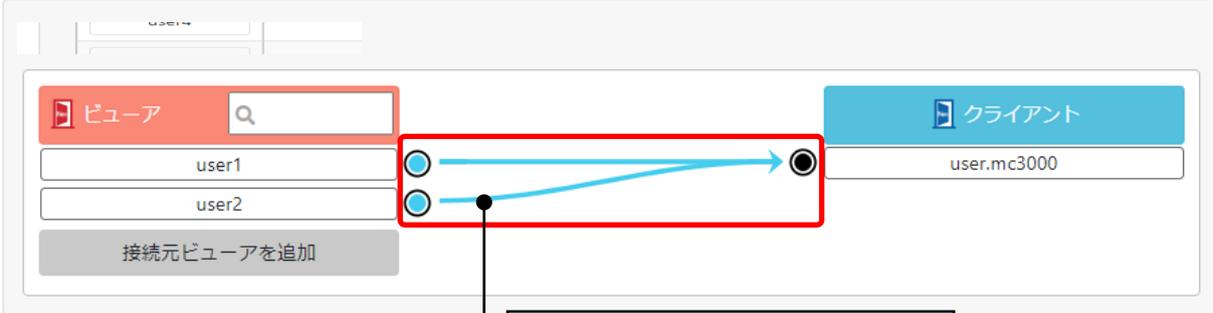
OK キャンセル

(7) ビューア「user1～user2」からクライアント「user.mc3000」へ接続可能となった構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。

端子マークが   →  へ変化して、「青」の接続線が表示されます。また、画面上部に「グループ化接続構成を変更しました。」のメッセージが表示されます。

一般ユーザuser.mc3000のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成を変更しました。



ビューア

user1

user2

接続元ビューアを追加

クライアント

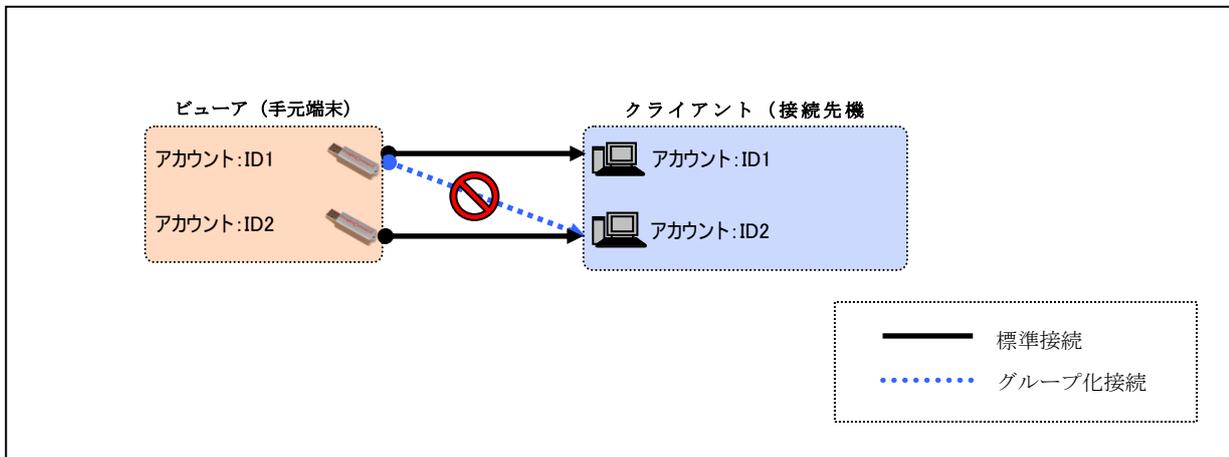
user.mc3000

更新に成功すると青の接続線が表示されます。

ユーザ接続構成一覧に戻る

4.3.4. グループ化接続を削除する

下図に示す、アカウント：ID1（user1）とアカウント：ID2（user2）が契約され、ビューア ID1（user1）とクライアント ID2（user2）の間がグループ化接続されているとします。



ここでは、ビューア「user1」からクライアント「user2」へのグループ化接続を削除する手順を説明します。

- (1) ビューア「user1」を基点とした表示にするため「user1」を選択します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

CSV一括操作

検索

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1		
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		

<< < 1 > >>

- (2) クライアント「user2」の横に表記されている端子マークをクリックします。
端子マークが「● → ×」に変化して「灰色 破線」の接続線と「グループ化接続構成の変更が行われています。」のメッセージが表示されます。

注意：この時点では、マジックコネクトサーバには、変更した内容は反映されません。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成の変更が行われています。
変更内容をシステムに反映
キャンセル

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名:

ビューア

user1

●

→

●

クライアント

user1

user2

接続先クライアントを追加

ビューア

user1

接続元ビューアを追加

user2 の横にある端子マークをクリックします。
すると、灰色・破線の接続線が表示されます。

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (3) 変更した内容をマジックコネクトサーバに反映するため、[変更内容をシステムに反映]ボタンを押します。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成の変更が行われています。 変更内容をシステムに反映 キャンセル

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名:

ビューア

user1

→

クライアント

user1 user2

接続先クライアントを追加

ビューア

user1

接続元ビューアを追加

→

クライアント

user1

ユーザ接続構成一覧に戻る

- (4) 確認メッセージが表示されますので、[OK]を選択します。

確認 ×

変更内容をシステムに適用します。
よろしいですか？

OK

キャンセル

(5) ビューア「user1」に対する構成が、マジックコネクトサーバに反映された内容で表示されます。

一般ユーザuser1のグループ化接続構成を表示しています。

! グループ化接続構成を変更しました。

アカウント管理者account.adminに
接続構成を変更するにはユーザ名:

接続先クライアントを追加

接続元ビューアを追加

ユーザ接続構成一覧に戻る

4.4. グループ化接続の作業を CSV 形式のファイルで行う

「グループ化接続構成」のダウンロードや編集を、CSV 形式のファイルで行う方法を説明します。

■ グループ化一括操作画面の表示

「グループ化接続構成」のダウンロードや編集は「グループ化一括操作画面」で行います。

「グループ化一括操作画面」はグループ化のページ右肩にある[CSV 一括操作]ボタンを押します。

アカウント管理者account.adminに所属するユーザのグループ化接続構成一覧を表示しています。
接続構成を変更するにはユーザ名をクリックしてください。

[CSV一括操作](#)

[検索](#)

ユーザ名	ビューアが接続できるクライアント一覧	クライアントに接続できるビューア一覧
user1		
user2		
user3		
user4		
user5		
user6		
user7		
user.mc3000		

<< < 1 > >>

グループ化一括操作画面が表示されます。

アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザのグループ化接続構成を対象にCSV形式で一括操作を行います。

グループ化接続構成をダウンロード(CSV形式)

アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザのグループ化接続構成一覧をCSVファイルでダウンロードします。

[接続構成をダウンロード](#)

グループ化接続構成をCSV形式で一括追加

追加したい接続構成を記述したCSVファイルをアップロードし、アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザの接続構成に一括追加します。

[ファイル選択](#) [接続構成を一括追加](#)

グループ化接続構成をCSV形式で一括削除

削除したい接続構成を記述したCSVファイルをアップロードし、アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザの接続構成を一括削除します。

[ファイル選択](#) [接続構成を一括削除](#)

① CSVファイルのフォーマットについて

CSV形式のファイルは、グループ化接続の情報のみで構成され、標準接続の情報は含みません。1行が1組 (1:1) のグループ化接続を表します。

① ヘッダ行

1行目はヘッダ行です。ヘッダ行は次の通りです。

```
source (viewer),destination (client)
```

① CSV形式のグループ化接続構成

2行目以降にグループ化接続構成を記述します。行は「接続元であるビューアのユーザ名」「(カンマ)」「接続先であるエージェントのユーザ名」という形式で記述します。

接続元であるビューアのユーザ名	接続元であるビューアのユーザ名を1つ記述します。
接続先であるクライアントのユーザ名	接続先であるクライアントのユーザ名を1つ記述します。

① 記述例

記述例は次の通りです。

```
source (viewer),destination (client)
user1,user.mc3000
user2,user.mc3000
```

① テンプレート用CSV

アップロード用のCSVファイルを作成する際は、以下のテンプレート用CSVのご利用をお勧めします。

[📄 テンプレート用CSVをダウンロード](#)

[ユーザ接続構成一覧に戻る](#)

■ CSV 形式のファイルフォーマットについて

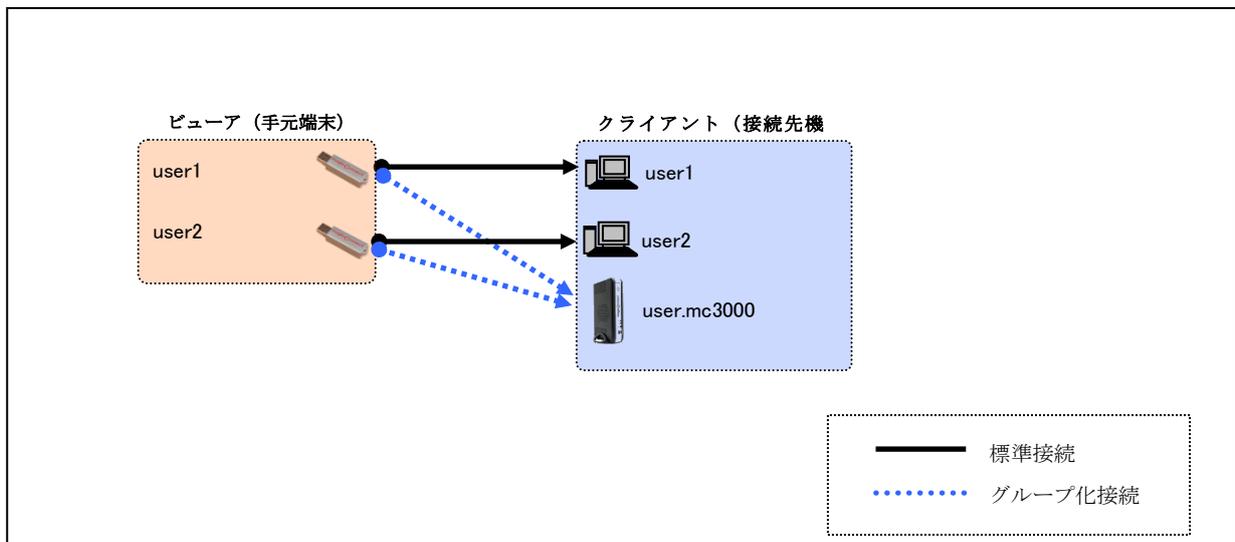
CSV 形式のファイルは、グループ化接続の情報のみで構成され、標準接続の情報は含みません。

1 行が 1 組 (1:1) のグループ化接続を表します。

そして、各行は「接続元であるビューアのユーザ名」,「(カンマ)」,「接続先であるクライアントのユーザ名」という形式で記述されます。

■ CSV 形式のファイル例

下図の接続構成に対する CSV ファイルの内容を示します。



source (viewer),destination (client)	1 行目はタイトル行です。 マジックコネクトサーバからダウンロードされた ファイルに存在します。 自身でファイルを作成する場合、この行は省略可 能です。
viewer1,client.mc3000	viewer1 → client.mc3000 に接続
viewer2,client.mc3000	viewer2 → client.mc3000 に接続

4.4.1. グループ化接続構成を CSV 形式でダウンロードする

マジックコネクトサーバに登録されているグループ化接続の情報を CSV 形式でダウンロードします。

グループ化一括操作画面の [接続構成をダウンロード] ボタンを押します。CSV ファイルのダウンロードが開始されます。標準では「group_年月日_時分秒.csv」というファイル名となっています。

アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザのグループ化接続構成を対象にCSV形式で一括操作を行います。

グループ化接続構成をダウンロード(CSV形式)

アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザのグループ化接続構成一覧をCSVファイルでダウンロードします。

接続構成をダウンロード

4.4.2. グループ化接続構成を CSV 形式で一括追加する

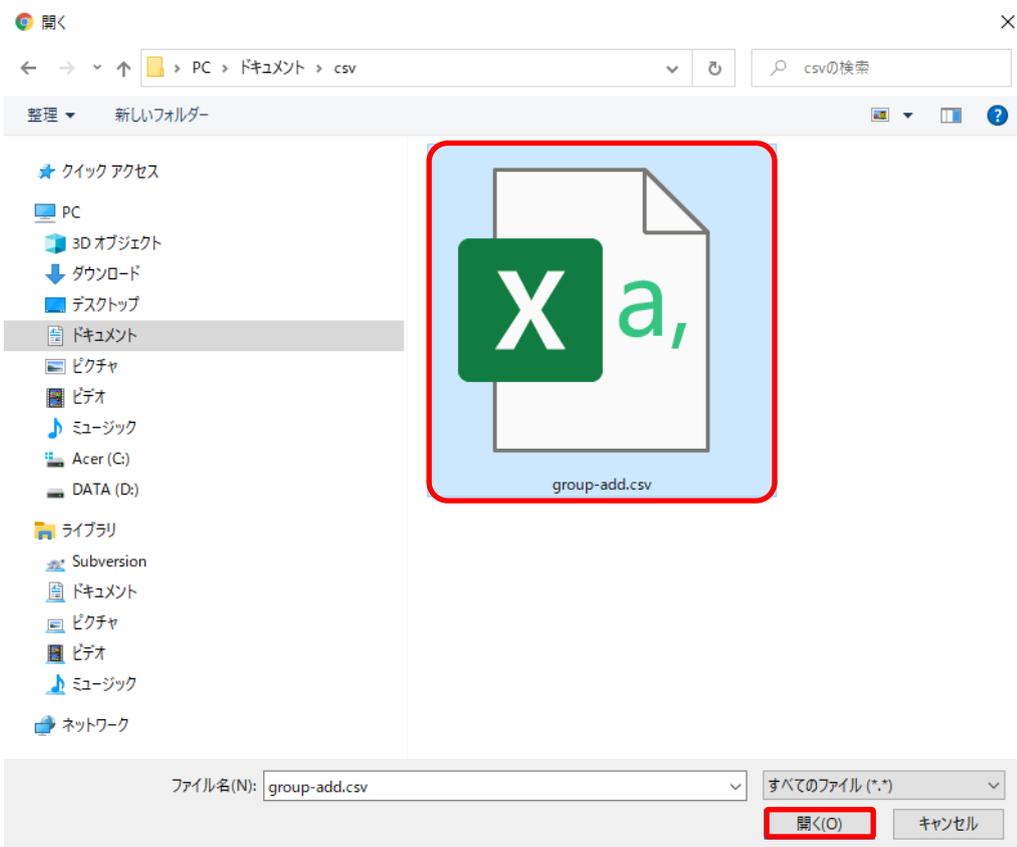
マジックコネクトサーバの既存のグループ化接続の情報を維持した上で、CSV 形式で用意したグループ化接続の情報を追加登録します。

- (1) グループ化一括操作画面の「グループ化接続構成を CSV 形式で一括追加」の[ファイル選択]ボタンを押します。



- (2) ファイルを選択する画面が表示されますので、アップロードする CSV ファイルを選択して、[開く]ボタンを押します。

下図は「group-add.csv」を選択した場合です。



- (3) 「ファイルを選択」の横に、選択したファイルのファイル名が表示されますので、選択したファイルで問題なければ、[接続構成を一括追加]ボタンを押します。

グループ化接続構成をCSV形式で一括追加

追加したい接続構成を記述したCSVファイルをアップロードし、
アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザの接続構成に一括追加します。

C:\fakepath\group-add.csv

ファイル選択

接続構成を一括追加

選択したファイル名が表示されます。

- (4) 既存のグループ化接続の情報を維持した上で、グループ化接続の情報が追加登録されます。

以下のグループ化接続構成を一括追加しました。

ビューア	クライアント	状態
user1	user.mc3000	成功
user2	user.mc3000	成功

ユーザ接続構成一覧に戻る

4.4.3. グループ化接続構成を CSV 形式で一括削除する

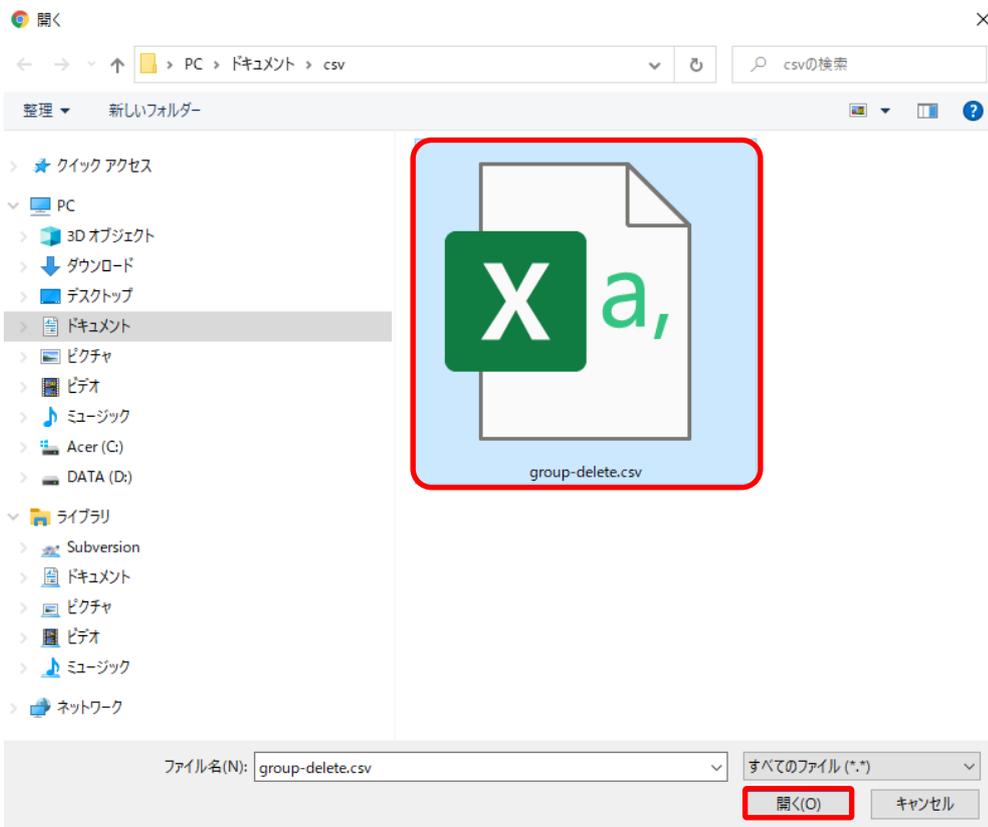
マジックコネクトサーバのグループ化接続の情報から、CSV 形式で用意した情報に一致するデータを削除します。

- (1) グループ化一括操作画面の「グループ化接続構成を CSV 形式で一括削除」の[ファイル選択]ボタンを押します。



- (2) ファイルを選択する画面が表示されますので、アップロードする CSV ファイルを選択して、[開く]ボタンを押します。

下図は「group-delete.csv」を選択した場合です。



- (3) 「ファイル選択」の横に、選択したファイルのファイル名が表示されますので、選択したファイルで問題なければ[接続構成を一括削除]ボタンを押します。

グループ化接続構成をCSV形式で一括削除

削除したい接続構成を記述したCSVファイルをアップロードし、
アカウント管理者account.adminが管理する一般ユーザの接続構成を一括削除します。

C:\fakepath\group-delete.csv

ファイル選択

接続構成を一括削除

選択したファイル名が表示されます。

- (4) 既存のグループ化接続の情報を維持した上で、グループ化接続の情報が削除されます。

以下のグループ化接続構成を一括削除しました。

ビューア	クライアント	状態
user1	user.mc3000	成功
user2	user.mc3000	成功

ユーザ接続構成一覧に戻る

5. 管理機能利用設定

本機能を利用することで管理画面を利用するための設定を変更できます。

5.1. 管理機能への IP アドレス制限	151
5.2. 多要素認証	155
5.3. 監査ログダウンロード	156
5.4. サブアカウント管理者管理	159

5.1. 管理機能への IP アドレス制限

アカウント管理者が管理機能へログインできるネットワークを限定する場合に、本機能を利用します。

注意) この機能は、「アカウント管理者」や「サブアカウント管理者」のユーザ名でのログインにのみ影響します。「一般ユーザ」のユーザ名でのログインには影響しません。

本機能で行った設定は、次回の接続認証から有効となります。

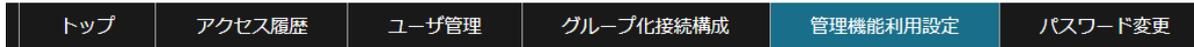
ここでは、下記の制限設定を行う手順を説明します。

グローバル IP アドレス 203.0.113.1 と 198.51.100.1 からのログインのみ許可

(1) セキュリティ画面を表示するには、トップ画面から管理機能利用設定をクリックします。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
 <p>アクセス履歴</p> <p>過去1年のアクセス履歴を表示することができます。</p>	 <p>ユーザ管理</p> <p>アカウントごとにユーザー情報を管理することができます。</p>				
 <p>グループ化接続構成</p> <p>現在の接続構成を表示・編集することができます。</p>	 <p>管理機能利用設定</p> <p>管理機能利用についての各種設定を管理することができます。</p>				
 <p>パスワード変更</p> <p>登録されているパスワードを変更することができます。</p>					

(2) 管理機能利用設定トップ画面から「管理機能への IP アドレス制限」をクリックします。



管理機能利用設定

管理機能利用についての各種設定を管理することができます。

セキュリティ



管理機能へのIPアドレス制限
管理機能へログインできるネットワークを制限することができます。



多要素認証
管理機能へのログインに多要素認証を設定できます。

レポート



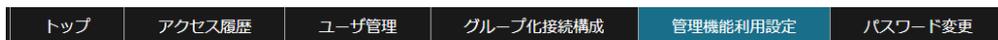
監査ログダウンロード
管理機能利用の監査ログをダウンロードできます。

サブアカウント管理者管理



サブアカウント管理者管理
サブアカウント管理者を管理することができます。

(3) 「次の IP アドレスからのログインのみ許可する」にチェックを入れます。



アカウント管理者で管理機能へログインできるネットワークを制限するには、下記の項目をすべて入力し、「更新」ボタンを押して下さい。

アカウント管理者ユーザ名	account.admin		
現在の接続元IPアドレス	203.0.113.1		
管理機能へのログイン制限	<input checked="" type="checkbox"/> 次のIPアドレスからのログインのみ許可する		
	IPアドレス	サブネットマスク	
	<input type="text" value="203.0.113.1"/>	<input type="text" value="255.255.255.255"/>	<input type="button" value="削除"/>
	<input type="button" value="IPアドレスを追加"/>	<input type="button" value="元に戻す"/>	

- (4) 接続を許可するグローバル IP アドレスとサブネットマスクを入力し、[更新]ボタンを押します。
 なお、許可するグローバル IP アドレスの入力欄を追加する場合は、[IP アドレスを追加]ボタンを押します。

トップ	アクセス履歴	ユーザ管理	グループ化接続構成	管理機能利用設定	パスワード変更
-----	--------	-------	-----------	----------	---------

アカウント管理者で管理機能へログインできるネットワークを制限するには、下記の項目をすべて入力し、「更新」ボタンを押して下さい。

アカウント管理者ユーザ名 **account.admin**

現在の接続元IPアドレス **203.0.113.1**

管理機能へのログイン制限 次のIPアドレスからのログインのみ許可する

IPアドレス	サブネットマスク	
203.0.113.1	/ 255.255.255.255	削除
198.51.100.1	/ 255.255.255.255	削除

- ※サブネットマスクの設定により、ネットワークアドレス単位での制限も可能です。
 ※登録可能な IP アドレスとサブネットマスクの組は最大 200 個までです。

③ 下記のメッセージが表示されますので、[OK]を選択します。

確認 ×

入力した内容を反映させます。
よろしいですか？

(5) 更新が正常に完了すると「設定は正常に更新されました。」と表示されます。

トップ アクセス履歴 ユーザ管理 グループ化接続構成 **管理機能利用設定** パスワード変更

設定は正常に更新されました。

アカウント管理者ユーザ名	account.admin
現在の接続元IPアドレス	203.0.113.1
管理機能へのログイン制限	次のIPアドレスからのログインのみ許可する
	203.0.113.1 / 255.255.255.255
	198.51.100.1 / 255.255.255.255

[戻る](#)

(6) 以後は、アカウント管理者用のユーザ名では、許可されたグローバル IP アドレス以外からはログインできなくなります。

ユーザ名とパスワードを入力してください。

※アカウント管理者でログインする場合は、アカウント管理者のユーザ名を入力してください。

ユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

ユーザ名

パスワード

ログイン



- 同じユーザ名でログイン失敗を5回繰り返すと、アカウントが一時的に無効化されます。
- アカウントが一時的な無効化状態になると、自動解除されるまで待機するか管理者が解除操作を実施するまで管理機能へログインできなくなります。

5.2. 多要素認証

管理機能へのログインに多要素認証を利用する場合に、本機能を使って設定します。多要素認証の利用にはスマートフォンが必要です。

詳しい解説や手順を Web ページでご案内しています。

➤ [「管理機能へのログインに多要素認証を利用する」](#)

5.3. 監査ログダウンロード

アカウント管理者が監査用ログをダウンロードするために使用します。

監査ログには、アカウント管理者やサブアカウント管理者による管理機能の利用履歴が、管理者名と共に記録されます。これにより、どの管理者がいつログインし、ユーザ管理やグループ化接続構成の変更、アクセス履歴のダウンロードを実施したか確認することができます。

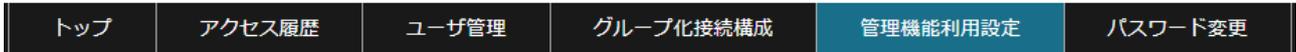
(1) トップ画面から「管理機能利用設定」をクリックします。



(2) 「監査ログダウンロード」をクリックします。



(3) 監査ログをダウンロードしたい年月を指定します。



監査ログのダウンロード

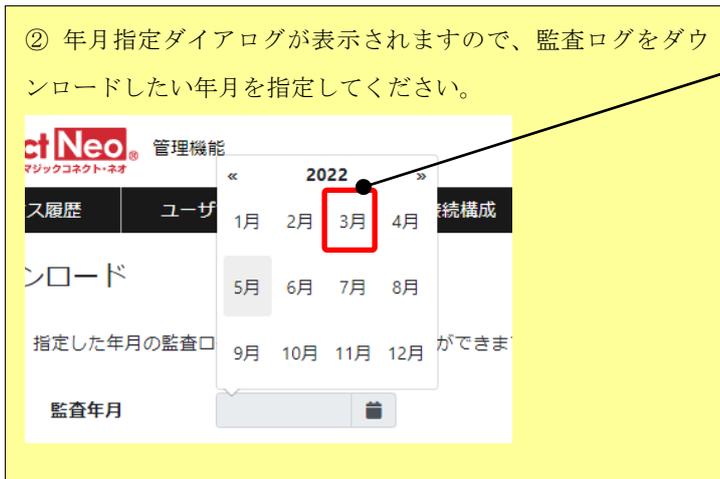
指定した年月の監査ログをダウンロードすることができます。

監査年月



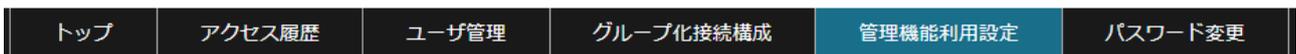
① クリックします。

② 年月指定ダイアログが表示されますので、監査ログをダウンロードしたい年月を指定してください。



③ クリックします。

(4) [ダウンロード]ボタンを押します。



監査ログのダウンロード

指定した年月の監査ログをダウンロードすることができます。

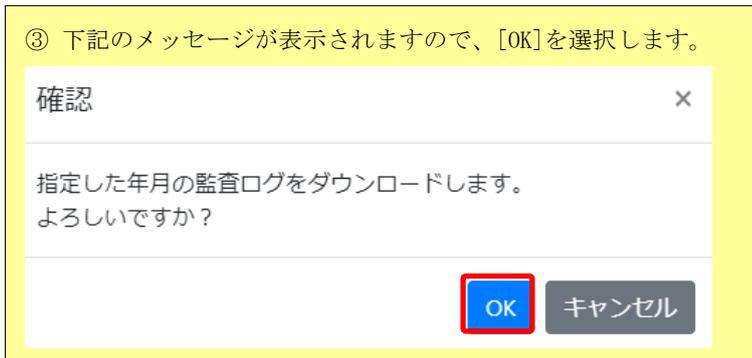
監査年月

2022-03

ダウンロード

戻る

③ 下記のメッセージが表示されますので、[OK]を選択します。



(5) 監査ログがダウンロードされます。

監査ログのフォーマットについては Web ページでご案内しています。

➤ [「監査ログのフォーマット」](#)

5.4. サブアカウント管理者管理

開通時に発行される「アカウント管理者」の他に「サブアカウント管理者」を作成し、管理作業を分担することができます。

詳しい解説や手順を Web ページでご案内しています。

➤ [「管理機能による利用者の管理を、複数人で分担する」](#)

6. パスワードの変更（アカウント管理者）

ログインしているアカウント管理者のパスワードを変更する場合に利用します。

詳しい解説や手順を Web ページでご案内しています。

➤ [「アカウント管理者が自身のパスワードを変更する」](#)